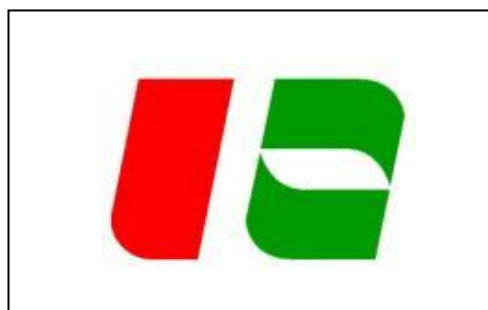


消 防 年 報

令和 2 年版
(2020年)



西 宮 市 消 防 局

令和 3 年 (2021年) 刊行第69号

西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、令和2年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

令和3年（2021年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



目

次

令和2年度に実施した主な事業		総務	
消防車両整備事業	9	総務の概要	45
消防団車両整備事業	10	消防予算	46
消防団車庫整備事業	10	一般会計予算と消防予算の推移	47
		消防予算市民負担の推移	47
		職員研修状況	
		派遣研修（その1）	48
		派遣研修（その2）	49
		職場研修	50
		消防吏員階級別資格取得状況	51
		公務災害等発生状況	52
		消防表彰等の状況	53
		消防音楽隊の状況	54
概況		広報及び広聴	
西宮市の消防	13	広報及び広聴の概要	57
令和2年中の各種出動件数	13	広報活動状況	57
各種出動状況	14	資料配布及び刊行物発行	58
緊急消防援助隊派遣状況	14	広聴事務処理状況	58
火災、その他災害出動、救助出動、 救急出動件数の推移	15	消防情報の提供（報道機関等）	58
西宮市消防の沿革	16		
所属別情勢	31		
令和2年度重点目標	32		
消防局の組織及び事務分掌	33		
消防署の組織及び事務分掌	34		
職員配置状況	35		
年度別職員数状況	35		
職員年齢状況	35		
職員勤続年数状況	35		
消防庁舎の概要	36		
消防自動車等保有状況	37		
消防情勢の推移	38		
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	39		
消防協力隊結成状況	39		
消防水利の状況	40		
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	40		
消防相互応援協定締結状況	41		
庁舎配置及び管轄区域	42		

予 防 行 政

予防行政の概要	61
防火対象物現況表	62
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	63
防火対象物査察・検査実施状況	64
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	65
防火管理に関する講習の実施状況	66
建築物確認申請等処理状況	66
12条報告・仮使用承認等処理状況	66
危険物製造所等設置許可数	67
危険物製造所等類別設置許可数	67
所属別危険物施設等現況及び査察状況	68
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	69
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	69
少量危険物・指定可燃物・ 液化石油ガス等届出施設状況	69
住宅防災診断実施状況	70
住宅防災診断指導件数	70

火 災 統 計

火災の概要	73
火災の状況	75
火災状況の推移	76
署別火災発生状況	76
月別火災発生状況	77
曜日別火災発生件数	78
時間別火災発生件数	78
覚知方法別火災発生件数	78
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	79
火災種別毎の損害額の割合(前年比較)	79

令和2年の出火原因	80
10年間の主な出火原因	80
放火件数の推移	81
放火の曜日別火災発生件数	81
放火の時間別火災発生件数	81
放火による着火物	81
主な火災発生状況	82
隣接都市火災応援(被応援)出動状況	82
高速道路における隣接都市 火災応援(被応援)出動状況	82
消防局消防活動状況	83

そ の 他 災 害 統 計

その他災害の概要	87
所属別その他災害発生状況	88

水 防 統 計

水防災害活動状況	91
----------	----

救 急 統 計

救急の概要	95
救急出動件数	96
救急出動件数・搬送人員の推移	96
事故種別出動件数及び搬送人員	97
事故種別出動件数の推移	97
事故種別傷病程度別搬送人員	98
傷病程度別搬送人員の推移	98
事故種別年齢区分別搬送人員	99
年齢区分別搬送者の推移	99
月別救急出動件数	100
曜日別救急出動件数	100
時間別救急出動件数	101
医療機関別搬送状況	102
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	102
現場到着及び病院収容所要平均時間	103
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	103
応急処置等の状況	104
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	104
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	105
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	105
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	105
所属別救急講習実施状況	106
救急講習実施回数及び受講者数の推移	106

熱中症による救急搬送状況の週別推移	107
熱中症による救急搬送状況の推移	107
救急出動状況	108
救急隊別出動状況	109
月別・曜日別救急出動状況	110

救 助 統 計

救助の概要	113
救助出動状況	114
発生場所別出動状況	115
月別救助出動状況	116
救助出動状況の推移	117
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	118
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	118
主な救助器具配置状況	119

消 防 通 信

指令業務の概要	123
消防通報用電話（119番）受信状況	124
消防通信施設の状況	125
気象情報等月別発令状況	126
発令された防災指令等	126
消防テレホンサービス利用状況	127

車 両 整 備

車両整備の概要	131
車両の購入	131
点検整備等	132

消 防 団

西宮市消防団の沿革	135
消防団の組織	137
消防団自動車現況	138
消防団員在職年数状況	139
消防団員年齢状況	139
消防団費と市民負担	140
消防団出動状況	140
消防団訓練実施内容	140
派遣研修及び教育訓練実施状況	140
公務災害等発生状況	141
団員の職業別	142
表 彰	142

令和2年度に
実施した主な事業



西宮市役所第二庁舎(危機管理センター)

消 防 車 両 整 備 事 業



消防ポンプ自動車(ポンプ車)
【山口分署】



水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)
【西宮消防署】



救助工作車
【鳴尾消防署】



特殊災害対応支援車
【北消防署】



高規格救急自動車
【西宮消防署】



高規格救急自動車
【北夙川分署】

消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車
【下山口分団】

消防団車庫整備事業



上山口分団金仙寺班車庫



小松分団車庫

概況



ロープブリッジ渡過

西宮市の消防

(令和3年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1	(整備センター・消防訓練施設を含む)
消防署	4	
消防分署	4	
消防自動車等	77台	(非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1	(消防局庁舎内)
分団数	33	分団(7地区)
分団車庫	36	箇所
消防自動車等	39	台

消防職員

定数	522人
実員	462人(うち女性8人)
	※派遣職員22人(うち女性1人)を除く

消防団員

定員	755人
実員	685人(うち女性7人)

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	111人
団員	433人(うち女性7人)
機能別団員	27人

《令和3年度消防予算》

78億3,987万9千円

令和2年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	84件
(令和元年中)	85件)
西宮市で4.3日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	1億3,777万2千円
(令和元年中)	3,356万0千円)
火災1件あたりの損害額は164万0千円となり、市民1人あたりでは285円になります。	

死傷者	死者	4人
	負傷者	11人

令和元年中	死者	4人
	負傷者	8人

《その他災害》

その他災害出動件数	1,034件
(令和元年中)	1,056件)

《救急》

救急出動件数	21,602件
(令和元年中)	25,091件)
西宮市で1日平均59.2件出動したことになります。	

	(令和2年中)	(令和元年中)
1 急病	13,513件	16,055件
2 一般負傷	3,762件	4,158件
3 交通事故	1,475件	1,756件
4 上記以外	2,852件	3,122件
となっています。		

《救助》

救助出動件数	450件
(令和元年中)	436件)

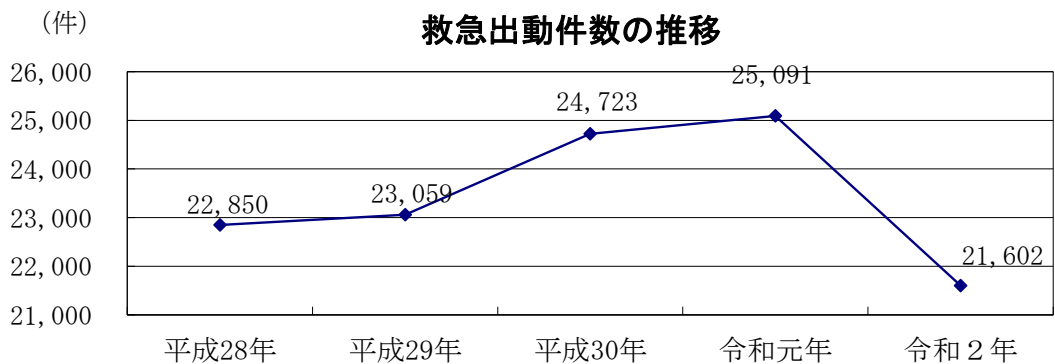
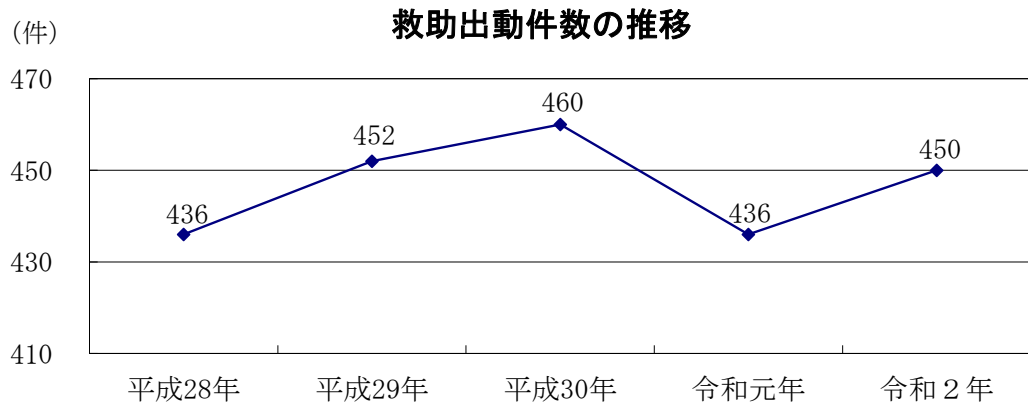
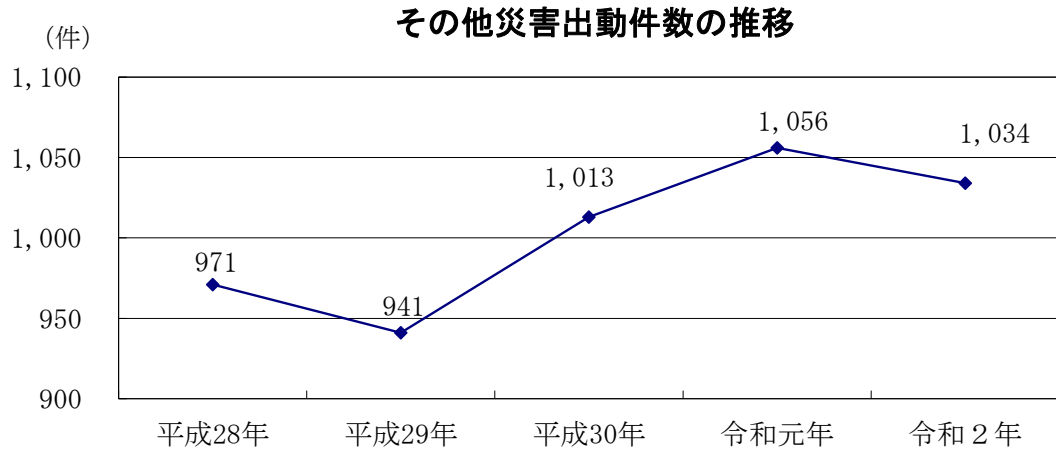
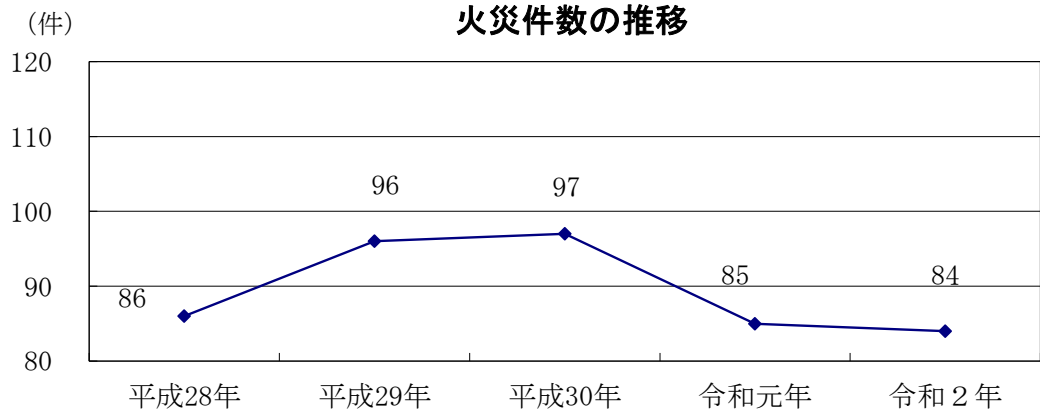
各種出動状況

(令和2年中)

種 別		件数等	出動台数	出動人員	
緊 急 出 動 業 務	火 災	火災件数	84	334	1,233
		死 者 (人)	4		
		負 傷 者 (人)	11		
		1日当りの火災件数	0.2		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	1,034	1,329	5,124
		緊急措置	119		
		緊急確認	387		
		支援活動	234		
		その他	73		
		補完	221		
	救 助 出 動	救助出動件数	450	1,072	3,931
		救助人員 (人)	224		
		1日当りの救助出動件数	1.2		
	救 急 出 動	救急出動件数	21,602	21,602	65,065
		傷病者搬送人員 (人)	19,575		
		ドクターカー出動件数	54		
1日当りの救急出動件数		59.2			
合 計		23,170	24,337	75,353	

緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
該当なし			



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第 186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械 7 その他 2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台をもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長-3課-11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機構改革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長一次長-4課-12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く

	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の条件整備を図る
昭和50年	42mはしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機構改革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図った
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消防局瓦木分室(救急救助課)が運用していた救急車を配置替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機構改革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局(本局)に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替のため鳴尾町2丁目所属照寂公園に仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42mはしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工(旧庁舎敷地跡)
	定数改正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機構改革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図る

	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足

	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合わせて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始

	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置（～平成7年1月）
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
平成5年	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
平成6年	機構改革	4月	<ul style="list-style-type: none"> (1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
平成7年	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車が完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入（以降、ポンプ車に順次整備）
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置

平成8年	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
平成9年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	高度救助用器具の導入	8月	高度救助用器具の整備を開始し、画像探索機（I型・II型）、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置を配置
	計 測 震 度 計 の 設 置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
	災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
	全国共通波の整備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設
	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視

平成10年	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
平成11年	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を経由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
	平成12年	機構改革	4月
航空隊派遣		4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した(以降、ローテーションにより派遣)
平成13年	機構改革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター(課)を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した

	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定数改正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品を更新）
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体制確立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス (NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス (NEMIS) ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した（平成28年12月から文書管理システムに移行）
	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置 [水難救助・BC災害・空気充填機]）を配置
平成17年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材 [野営テント他]）を配置
	携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査察体制の強化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足

平成18年	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬剤投与認定救命士の資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消防学校教官派遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予防技術資格者の認定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した(以降、順次認定)
	AED貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
	35mはしご車配置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成19年	備品管理システム運用開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市長事務部局への出向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅費管理システムの導入	4月	旅費管理システムを導入した
	AED設置事業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会(中核市移行記念)を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地震警報器の導入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした
	キャフス装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャフス装置を導入(以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備)
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
平成21年	機構改革	4月	消防局長一次長一6課一17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した

	乗換運用の解消	4月	西宮消防署北夙川分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	自主防災組織の移管	4月	自主防災組織関連事務を消防局から防災・安全局に移管した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	A E D 設置 施設 表示 制度	5月	A E D 設置している民間事業所に、そのA E D の一般使用について協力を依頼し、A E D 設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成22年	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成23年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
	機 構 改 革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した
	車 両 配 置 の 再 編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消 防 緊 急 情 報 シ ス テ ム 更 新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) W e b 119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(A V M装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防O A支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防O A支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入

平成24年	山口分署車庫増築	8月	山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機 構 改 革	4月	課長補佐級制度の廃止（役名は当分の間残置）及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
平成25年	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
平成26年	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した（以降、ローテーションにより派遣）
	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
平成26年	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	乗換運用の解消	4月	鳴尾消防署浜分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	機 構 改 革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した

平成27年	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
平成28年	指導的立場の救命士	2月	指導的立場の救命士制度を導入した
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日の間、11隊39人を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
平成29年	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した
平成30年	西宮消防70周年記念フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行了した
	消防研究センター派遣	4月	総務省消防庁消防大学校消防研究センターへ職員を派遣した（2年間）
	予防技術資格者区分の変更	5月	予防技術資格者区分をエキスパートとスペシャリストの2区分に変更した
	緊急消防援助隊出動	7月	平成30年7月豪雨への緊急消防援助隊として、7月12日から7月20日の間、4隊12人を広島県広島市安芸区上瀬野町に派遣した
	消防訓練施設の竣工	11月	西宮市甲子園浜2丁目10番地に西宮市消防訓練施設を竣工、運用開始
令和元年	機構改革	4月	参事及び高度救助隊を担当する係長を配置した (1) 西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に課長級職員の参事を配置し、組織図上の表記を参事（警防第1担当）又は参事（警防第2担当）とした (2) 西宮消防署に高度救助隊を担当する係長を配置した (3) 課長補佐の役名を廃止した

	乗換運用の解消	4月	瓦木消防署甲東分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品と救急防護服を更新）
	災害医療センター職員派遣	4月	兵庫県災害医療センターへ職員を派遣した
令和2年	山口分署改修工事	3月	北消防署山口分署の事務室及び駐車場敷地改修工事を完了した
	指導救命士制度導入	3月	指導的立場の救急救命士として指導救命士制度を導入した
	機構改革	4月	西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に配置している参事に担当課長の役名を付し、また、北消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	乗換運用の解消	4月	北消防署山口分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	消防大学校派遣	4月	総務省消防庁消防大学校へ教官を派遣した
令和3年	機構改革	4月	(1) 総務部企画課に施設整備係を新設した (2) 瓦木消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	救急隊の増隊	4月	救急需要及び新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年度に限定した配置体制として、瓦木消防署甲東分署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用とした
	西宮市役所第二庁舎竣工	4月	西宮市六湛寺町8番28号に西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）竣工、消防局（消防本部）を移転し4月26日運用開始

所 属 別 情 勢

(令和3年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面	積	100.18 km ²		
人	口	483,641 人		
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,047 人		
世 帯 数		224,624 世帯		
消 防 吏 員 1 人 当 り		486 世帯		
防 火 対 象 物 数		12,085 対象		
消 防 水 利 数		6,079 個		
消 防 吏 員 数		462 人		
保 有 車 両 数		77 台		
危 険 物 施 設 数		273 施設		
		局77人(うち女性2人)を含む 局19台を含む		
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面	積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²
人	口	164,994 人	101,067 人	63,927 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,557 人	1,508 人	1,639 人
世 帯 数		78,861 世帯	51,082 世帯	27,779 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		744 世帯	762 世帯	712 世帯
防 火 対 象 物 数		4,581 対象	3,308 対象	1,273 対象
消 防 水 利 数		2,065 個	1,219 個	846 個
消 防 吏 員 数		106 人 (うち女性1人)	67 人 (うち女性1人)	39 人
消 防 車 両 数		15 台	10 台	5 台
危 険 物 施 設 数		52 施設	45 施設	7 施設
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面	積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²
人	口	136,871 人	101,656 人	35,215 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,521 人	1,666 人	1,214 人
世 帯 数		65,261 世帯	49,664 世帯	15,597 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		725 世帯	814 世帯	538 世帯
防 火 対 象 物 数		3,170 対象	2,273 対象	897 対象
消 防 水 利 数		1,645 個	1,117 個	528 個
消 防 吏 員 数		90 人 (うち女性2人)	61 人 (うち女性2人)	29 人
消 防 車 両 数		15 台	9 台	6 台
危 険 物 施 設 数		129 施設	55 施設	74 施設
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面	積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²
人	口	138,682 人	90,188 人	48,494 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		1,460 人	1,841 人	1,054 人
世 帯 数		61,391 世帯	40,344 世帯	21,047 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		646 世帯	823 世帯	458 世帯
防 火 対 象 物 数		3,418 対象	2,403 対象	1,015 対象
消 防 水 利 数		1,517 個	894 個	623 個
消 防 吏 員 数		95 人 (うち女性2人)	49 人 (うち女性2人)	46 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		29 施設	18 施設	11 施設
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面	積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²
人	口	43,094 人	26,633 人	16,461 人
消 防 吏 員 1 人 当 り		458 人	476 人	433 人
世 帯 数		19,111 世帯	11,220 世帯	7,891 世帯
消 防 吏 員 1 人 当 り		203 世帯	200 世帯	208 世帯
防 火 対 象 物 数		916 対象	310 対象	606 対象
消 防 水 利 数		852 個	470 個	382 個
消 防 吏 員 数		94 人 (うち女性1人)	56 人 (うち女性1人)	38 人
消 防 車 両 数		14 台	9 台	5 台
危 険 物 施 設 数		63 施設	23 施設	40 施設

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員数は、再任用、兵庫県消防学校(教官・初任教育・救急救命士)派遣、市出向を含まない

令和2年度重点目標

第5次西宮市総合計画で掲げたアクションプランの取組内容を推進すると同時に、新たな行政課題にも的確に対応するために策定された「西宮市行政経営改革基本方針」を踏まえ、機能的で効率的な消防行政の運営に努める。

消防体制の強化としては、耐震性などに課題のある西宮消防署を本市の基幹消防署としてふさわしい消防活動拠点にするため、新西宮消防署の建設工事に着手する。また、職員定数の充足に取り組むとともに、消防の任務を遂行するため、西宮市消防職員人材育成基本方針に基づく人材育成の推進と併せ、服務規律の確保を徹底する。さらに、火災をはじめ各種災害のほか、大規模自然災害への対応に万全を期すため、確立された指揮命令システムによる部隊行動を徹底し、災害対応能力の強化を図る。

火災予防の推進としては、住宅火災による被害を軽減するため、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進など、広報活動を推進する。また、類似火災の発生を防ぐため、火災調査体制の充実を図る。さらに、火災や重大事故を未然に防止するため、計画的に予防査察を実施し、是正指導を徹底する。

救急活動の充実では、増加し続ける救急需要への対策として、増隊に向けた検討を進めるほか、救急業務を安定的かつ持続的に実施するため、救急教育体制の充実により救急隊員の知識と技術を向上させ、救急業務の高度化を図る。また、救命効果を高めるため、応急手当の普及啓発を推進する。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

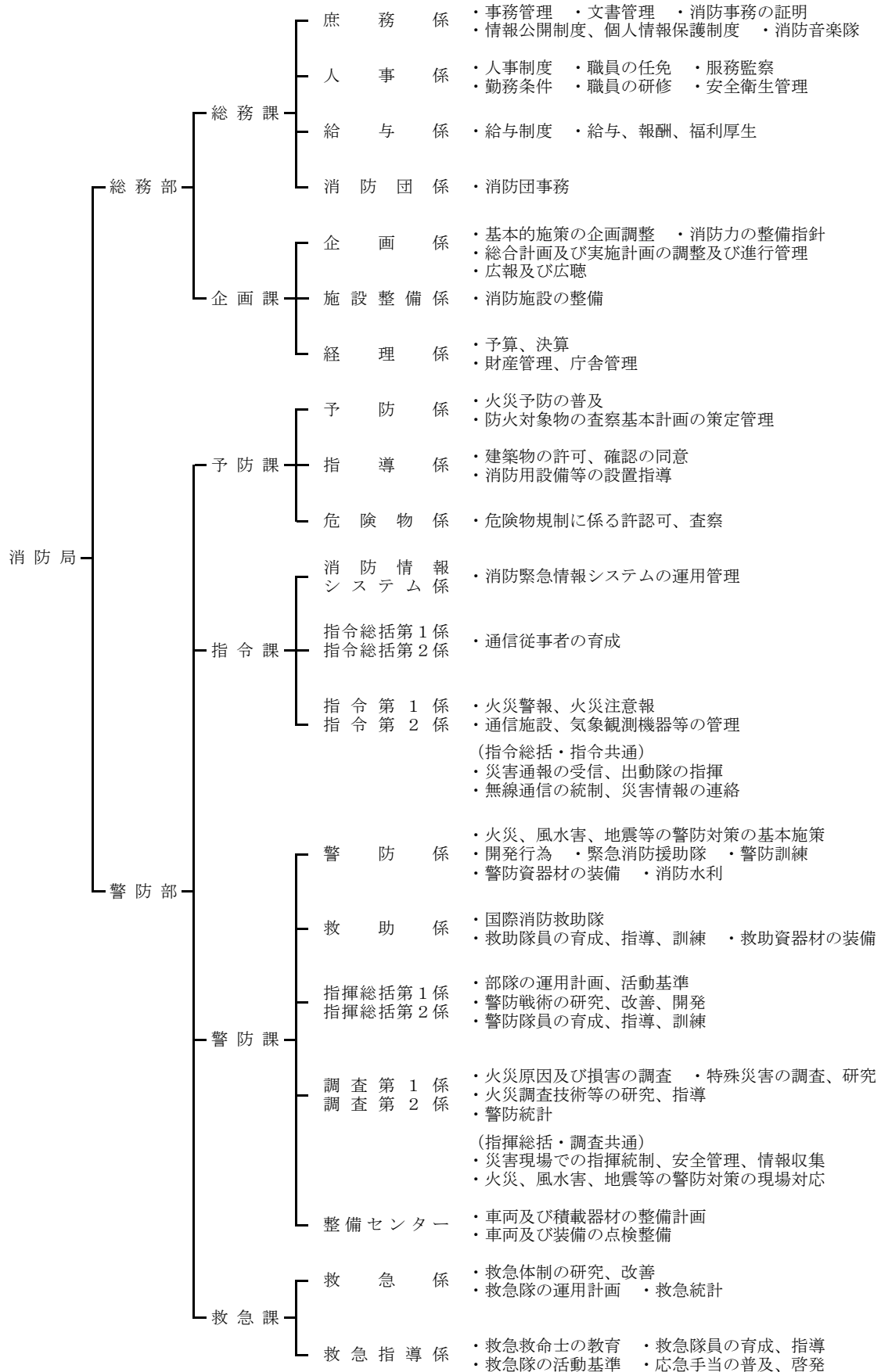
(重点目標)

消防体制の強化	1 人材育成の推進 2 服務規律の確保 3 災害対応能力の強化
火災予防の推進	1 火災予防広報の推進 2 火災調査体制の充実 3 予防査察体制の強化
救急活動の充実	1 救急教育体制の充実 2 救急業務の高度化 3 応急手当の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

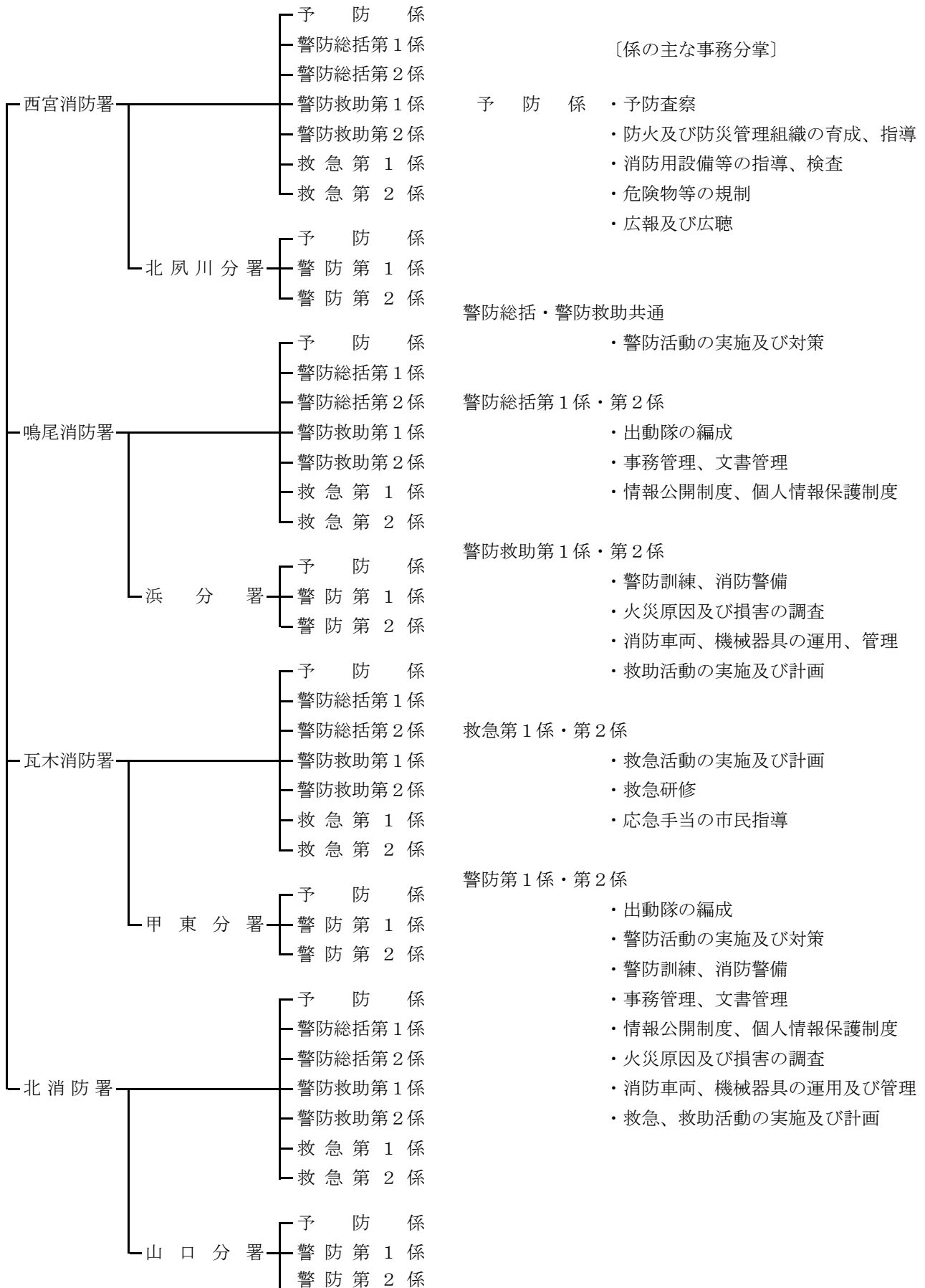
(令和3年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(令和3年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

所 属 区分	消 防 局									西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部						本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
		部 長	総 務 課	企 画 課	部 長	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課									
配置人員 (うち女性)	1	1	12 (1)	7	1	7	22 (1)	21	5	67 (1)	39	61 (2)	29	49 (2)	46	56 (1)	38	
小 計 (うち女性)	1	20 (1)			56 (1)						106 (1)	90 (2)	95 (2)	94 (1)				
計 (うち女性)	462 (8) (派遣職員22名(1)を除く)																	

年 度 別 職 員 数 状 況

(令和3年4月1日現在)

年 度 区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	職 員 数	446	439	443	434	441	449	463	477
採 用	30	16	17	14	18	23	18	19	17
退 職	23	13	23	11	15	4	5	10	

職 員 年 齢 状 況

(令和3年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	5	57	71	108	93	50	47	30	23

※ 職員平均 35歳10月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(令和3年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	90	85	136	52	26	46	29	17	3

※ 職員平均 14年0月

消 防 庁 舎 の 概 要

(令和3年4月1日現在)

庁舎名	所在地	建築年月	経過	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市池田町 13番3号	1996.3 (平成8.3)	25年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 6階建	2,513.71㎡	2,373.78㎡ (応急診療所除く)
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1987.3 (昭和62.3)	34年1ヶ月	鉄骨造 折版葺 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮市消防 訓練施設	西宮市甲子園浜2丁目 10番地	2018.11 (平成30.11)	2年5ヶ月	鉄筋コンクリート造 A棟(7階建) B棟(2階建) C棟(2階建)	8,814.89㎡	963.81㎡ A棟(571.81㎡) B棟(296.00㎡) C棟(96.00㎡)
西宮消防署	西宮市津門大塚町 1番38号	1966.1 (昭和41.1)	55年3ヶ月	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建	1,450.30㎡	1,814.84㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町 4番4号	1984.3 (昭和59.3)	37年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町 2番12号	1980.3 (昭和55.3)	41年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		2011.2 (平成23.2)	10年2ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1999.10 (平成11.10)	21年6ヶ月	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町 15番11号	1988.9 (昭和63.9)	32年7ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上ヶ原一番町 1番64号	2018.1 (平成30.1)	3年3ヶ月	鉄骨造 3階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北消防署	西宮市名塩新町 7番地1	1991.3 (平成3.3)	30年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目 1番20号	1985.3 (昭和60.3)	36年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡
消防待機宿舎	西宮市津門大塚町 1番38号	1968.3 (昭和43.3)	53年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	535.94㎡	1,094.54㎡ のうち 5階部分 198.59㎡

(令和3年4月26日～)

消防局	西宮市六湛寺町8番28号 西宮市役所第二庁舎 (危機管理センター) 1階～3階	2021.4 (令和3.4)	0年0ヶ月	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上12階建 免震構造 (2階床下)	2,435.51㎡	16,617.00㎡ のうち 消防局部分 2,529.08㎡
-----	--	-------------------	-------	---	-----------	---

消防自動車等保有状況

(令和3年4月1日現在)

車種別 所属別		合計	ポンプ車	タンク車	はしご車	化学車	救助工作車	活動支援車	救急車	司令車	指揮車	指揮広報車	査察広報車	人員搬送車	防火指導車	連絡車	可搬式動力ポンプ
		77	9	9	4	2	4	16	13	1	2	3	8	2	1	3	
消防局	消防局	10						4		1	1			1	1	2	3
	整備センター	9	(2)	(1)		(1)		1	(3)							1	2
西宮	本署	10	1	1	1		1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				3
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6		1				2	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1	1	1	1	1			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				3
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

() は非常用車両

消防情勢の推移

(令和3年4月1日現在)

区分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消(防 条 例 職 員 定 数 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成19年 (2007年)	468,831	202,500	100.18	426	70	158	79,116	18,964	217
平成20年 (2008年)	472,679	205,565	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年 (2009年)	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年 (2010年)	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年 (2011年)	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年 (2012年)	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年 (2013年)	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年 (2014年)	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年 (2015年)	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年 (2016年)	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年 (2017年)	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年 (2018年)	484,152	220,123	100.18	522	76	97	146,023	24,723	460
令和元年 (2019年)	483,713	221,382	100.18	522	76	85	33,560	25,091	436
令和2年 (2020年)	483,744	222,844	100.18	522	77	84	137,772	21,602	450
令和3年 (2021年)	483,641	224,624	100.18	522	77	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(令和3年4月1日現在)

区分 署別		家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織
		クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)
西宮消防署	小計	4	47	4	201			52
	本署	3	35	2	89			29
	北夙川	1	12	2	112			23
鳴尾消防署	小計	2	21	4	294	1	19	30
	本署	2	21	4	294	1	19	14
	浜							16
瓦木消防署	小計	2	31	3	211			74
	本署	1	14	2	176			31
	甲東	1	17	1	35			43
北消防署	小計	3	68	3	135			71
	本署	2	54	1	62			58
	山口	1	14	2	73			13
合計		11	167	14	841	1	19	227

消防協力隊結成状況

(令和3年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
2	新明和工業株式会社	10
3	JFEアドバンテック株式会社	10
4	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
5	日本盛株式会社	10
6	株式会社指月電機製作所	34
7	極東開発工業株式会社	42
8	大関株式会社	120
9	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	58
10	辰馬本家酒造株式会社	6
11	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	145
12	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
13	医療法人 明和病院	10
14	鳴尾浜連絡会	300
15	株式会社甲子園オートセンター	10
16	阪急バス株式会社 山口営業所	10
17	読売ゴルフ株式会社	23
18	西宮浜産業団地協議会	741
19	一般社団法人 西宮市医師会	10
20	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
21	学校法人 関西学院	100
22	阪神流通センター協同組合連合会	97
23	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
24	株式会社 戸崎組	10
25	第一建設機工株式会社	6
26	徳山土木株式会社	15
合計	26団体 (事業所)	1,902

消 防 水 利 の 状 況

(令和3年4月1日現在)

種 別 \ 区 分			令 和 元年度末	令 和 2 年 度			所 属 別			
				増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満	1,938	1	2	1,937	744	430	459	304
		150mm以上	1,914	3		1,917	658	494	511	254
	私 設		173		4	169	13	80	70	6
	工 水		95			95	26	69		
小 計			4,120	4	6	4,118	1,441	1,073	1,040	564
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満	60			60	18	11	13	18
		40m ³ 以上	388	7	1	394	99	84	76	135
		60m ³ 以上	8			8	2	1	4	1
		100m ³ 以上	46		1	45	15	13	8	9
	私 設	40m ³ 未満	28		1	27	12	4	7	4
		40m ³ 以上	858	6	9	855	286	267	232	70
		60m ³ 以上	72	1	1	72	26	27	14	5
		100m ³ 以上	75	1		76	15	41	15	5
小 計			1,535	15	13	1,537	473	448	369	247
消 防 用 水	40m ³ 未満		1			1		1		
	40m ³ 以上		17			17	2	9		6
	60m ³ 以上		18			18	6	11	1	
	100m ³ 以上		28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設		11			11	6	5		
	私 設		11		2	9	2	7		
貯 水 槽	公 設									
	私 設		120	1		121	62	23	28	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽		25		3	22	11	5	4	2
	河 川		89	1		90	32	12	35	11
	海 水		8			8		8		
	池		17			17	6	5	2	4
	プ ー ル		83	1	3	81	21	28	24	8
	マンホール		1			1		1		
	溝 水									
合 計			6,084	22	27	6,079	2,065	1,645	1,517	852

開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数	41	水利あり	水利なし	開発事前協議	132				
		10	31						
消 防 水 利									
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利		
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 ル 口	池
小計	1	1	6	1					2
合計	11								

消防相互応援協定締結状況

(令和3年4月1日現在)

名称	締結都市等	応援区域	締結年月日
7市1町消防相互応援に関する覚書	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	各市町全域	平成13年3月1日
兵庫県道高速北神戸線上の消防相互応援に関する覚書	宝塚市	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかるとる区域	平成15年4月21日
兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	尼崎市	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかるとる区域	平成6年3月15日
	芦屋市	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかるとる区域	平成6年3月25日
名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)	尼崎市・豊中市	西宮IC、豊中IC間の名神高速道路上	昭和39年8月31日(協定) 昭和39年9月5日(覚書)
神戸市・西宮市消防相互応援協定(同覚書)	神戸市	西宮市、神戸市域	平成19年1月18日(協定) 平成19年1月18日(覚書)
中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	中国道のうち兵庫県の区域	平成27年9月26日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	各市全域	平成26年1月31日(協定) 平成26年1月31日(覚書)
兵庫県広域消防相互応援協定(同覚書)	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	兵庫県下	平成25年10月23日(協定) 平成31年3月26日(覚書)
山陽自動車道消防相互応援協定(同覚書)	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	神戸JCTから備前ICまでの区間(三木JCTから神戸西ICまでの区間及び播磨自動車道を含む)	平成30年4月1日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、猪名川町、宝塚市、三田市、神戸市	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域	平成30年3月18日(協定) 平成30年3月18日(覚書)

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



西宮消防署北夙川分署



瓦木消防署



西宮市役所第二庁舎（危機管理センター）
西宮市消防局



西宮消防署



鳴尾消防署



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署



西宮市消防訓練施設

総

務



初任教育「査閲」

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過した水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車2台、救助工作車1台及び特殊災害対応支援車1台を更新するとともに、資機材では、特殊災害用資機材1式等を整備し、消防力の充実強化を図った。

消防庁舎等整備事業として、西宮消防署の建替工事を実施するとともに、瓦木消防署の改修工事に伴う設計を行ったほか、救急ワークステーションについては、統合新病院敷地内での整備に向けた取組みに着手した。

消防団車両等整備事業として、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車1台を更新した。

消防団車庫整備事業として、今津分団車庫の建替工事に伴う設計を行い、小松分団車庫及び上山口分団金仙寺班車庫の建替工事を実施し、消防団の体制整備に努めた。

2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中であっても、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校や兵庫県消防学校、救急救命士養成課程等、必要な研修へ消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣して潜水士等の資格を取得させ、組織力の維持向上に努めた。加えて、市研修厚生課主管の研修等へも消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した令和2年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、感染防止対策を徹底しながら、教養研修等の職場研修を行い、職員個々の能力開発に努めた。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、職員のこころのケア対策の充実を図るため、服務監察員に対してメンタルヘルス研修を行い、服務監察員として必要な知識を習得させた。

3 事務管理

消防行政の公正な運営を確保するため、西宮市消防文書取扱規程及び関係条例等に基づき、適正な文書管理に努めた。

また、職員用ノートパソコン等、OA機器の効果的な配置及び文書管理システムの有効活用により、適正な事務管理に努めた。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
	消防費		
	7,839,879	6,601,294	1,238,585
消 防 費	5,294,763	5,169,912	124,851
職 員 の 給 与 費	4,558,749	4,486,689	72,060
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費	23,956	25,553	△ 1,597
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費	115,676	121,707	△ 6,031
通 信 指 令 業 務 経 費	383,971	227,684	156,287
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費	38,016	75,710	△ 37,694
消 防 活 動 業 務 経 費	29,323	54,370	△ 25,047
救 助 活 動 業 務 経 費	6,292	16,851	△ 10,559
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費	46,121	60,459	△ 14,338
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費	1,170	1,137	33
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費	1,785	1,904	△ 119
救 急 活 動 業 務 経 費	23,980	28,149	△ 4,169
一 般 事 務 経 費	65,724	69,699	△ 3,975
消 防 団 費	126,575	143,416	△ 16,841
消 防 団 運 営 事 業 経 費	120,451	135,461	△ 15,010
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費	6,124	7,955	△ 1,831
消 防 施 設 整 備 費	2,350,038	1,221,142	1,128,896
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費	20,866	20,275	591
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費	83,904	162,360	△ 78,456
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費	1,974,258	579,842	1,394,416
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費	193,149	361,790	△ 168,641
消 防 水 利 等 整 備 事 業 費	74,000	90,000	△ 16,000
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費	3,861	6,875	△ 3,014
水 防 費	68,503	66,824	1,679
水 防 対 策 事 業 経 費	30,503	28,824	1,679
水 防 作 業 従 事 手 当 経 費	38,000	38,000	0

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

年度別		市一般会計	消防費	比 率
		(千 円)	(千 円)	(%)
平成24年度	当 初 予 算	159,721,161	5,306,979	3.32
	決 算	157,631,649	5,304,986	3.37
平成25年度	当 初 予 算	160,941,007	5,741,263	3.57
	決 算	161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算	167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算	167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算	174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算	170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算	174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算	166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算	176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算	169,364,942	6,190,503	3.66
平成30年度	当 初 予 算	178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算	172,675,344	6,003,544	3.48
令和元年度	当 初 予 算	184,073,481	5,725,540	3.11
	決 算	175,091,370	5,487,523	3.13
令和2年度	当 初 予 算	193,080,562	6,601,294	3.42
	決 算	(未決算)	(未決算)	(未決算)
令和3年度	当 初 予 算	193,856,204	7,839,879	4.04
	決 算	—	—	—

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

年度別	区分 消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
				市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成24年度	5,306,979	479,014	212,781	11,079	24,941
平成25年度	5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925
平成26年度	6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度	5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度	5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度	6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821
平成30年度	6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270
令和元年度	5,725,540	483,713	221,382	11,837	25,863
令和2年度	6,601,294	483,744	222,844	13,646	29,623
令和3年度	7,839,879	483,641	224,624	16,210	34,902

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和2年度中)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	
研 修 名									
大 学 校	そ の 他	指 揮 隊 長 コー ス	2	2					
		消 防 大 学 校 フォー ラム	1			1			
県 消 防 学 校	初 任 教 育		19				19		
	専 科 教 育	救 助 科	3				3		
		救 急 科	16					16	
		警 防 科	3				3		
		危 険 物 科	3				3		
	そ の 他	惨 事 スト レ ス 研 修		2		1	1		
		山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修		2					2
		実 火 災 体 験 型 訓 練 コー ス		10		1	2	3	4
	救 急 救 命 士 養 成 課 程		4				2	2	
	救 急 救 命 士 追 加 講 習		4		1	1	1	1	
第 1 種 衛 生 管 理 者 講 習 会		2	1	1					
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		3			1	2			
玉 掛 け 技 能 講 習		3					3		
小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習		3					3		
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会		2			1	1			
大 型 自 動 車 第 一 種 免 許 取 得 の た め の 教 習 所		2					2		
中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 の た め の 教 習 所		4					4		
県 下 防 火 対 象 物 関 係 違 反 是 正 事 例 研 究 会		1		1					
県 下 危 険 物 関 係 違 反 是 正 事 例 研 究 会		1		1					
違 反 是 正 事 例 発 表 会		1		1					
日 本 火 災 学 会 研 究 発 表 会		8	1	3	3	1			
危 険 物 等 事 故 防 止 ブ ロ ッ ク 連 絡 会 議		1		1					
建 築 防 火 ・ 防 火 講 習 会		1			1				
令 和 2 年 度 消 防 用 設 備 等 講 演 会		8	1	3	3	1			
令 和 2 年 度 違 反 是 正 推 進 部 会 阪 神 ブ ロ ッ ク 部 会		1			1				
火 災 科 学 セ ミ ナ ー		8	1	3	3	1			
ハロン 消 火 剤 と 予 防 行 政 に 関 す る 研 修 会 2020		8	1	3	3	1			
第 3 回 通 信 指 令 シ ン ポ ジ ウ ム		2		1	1				
安 全 運 転 管 理 者 等 講 習		10	9	1					
整 備 主 任 者 研 修		5		1	1	1		2	
消 防 ・ 救 急 緊 急 自 動 車 ド ラ イ バ ー 安 全 運 転 研 修		2					2		
火 災 調 査 担 当 者 会 議		1		1					
国 際 消 防 救 助 隊 セ ミ ナ ー		1		1					
化 学 災 害 、 テ ロ 時 に お け る 神 經 剤 解 毒 剤 自 動 注 射 器 の 使 用 に 関 す る イ ン ス ト ラ ク タ ー 研 修		4		2	1	1			
近 畿 救 急 医 学 研 究 会 救 急 隊 員 部 会		9		1	6	2			
阪 神 地 区 消 防 長 会 救 急 隊 員 研 修 会		76		13	14	25	20	4	
全 国 救 急 隊 員 シ ン ポ ジ ウ ム		4		3	1				
合 計		240	16	44	45	51	78	6	

(派遣研修) その2

(令和2年度中)

階 級 研 修 名		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 厚 生 課 等 研 修	係長第1部研修(メンタルヘルス)	5		5				
	係長第2部研修	3		3				
	係長第1部研修(後期)	5		5				
	課長第1部研修(秋期)	5	5					
	係長法律研修	6		6				
	行政課題解決に向けたデータ分析・活用研修	1	1					
	ステップアップ研修(必修)	16					16	
	再任用職員予定者研修	5	1	1		1	2	
合 計		46	7	20		1	18	

(職場研修)

(令和2年度中)

階 級 研 修 名		実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条件付採用時研修	1	19					19	
	新任課長特別研修	1	4	4					
	令和2年度採用者に対する特別研修	1	19					19	
	再任用予定者研修	1	4		1		1	2	
	昇任予定者研修	2	22				7	15	
	指導力向上研修	1	30			9	21		
	令和2年度採用者(救急救命士資格取得者)の救急研修	1	2					2	
企画課	財務会計システム取扱研修	1	12		1	8	3		
予防課	予防事務調査研究会	4	55				15	40	
指令課	新規指令課異動者研修	1	3		1	2			
	マニュアル指令訓練	4	44		8	18	14	4	
	分散受信訓練	8	54		10	24	14	6	
	非常招集伝達訓練	4	192	22	53	64	45	4	4
	口頭指導に係る救急研修(口頭指導シミュレーション含む)	170	1,117		194	462	356	105	
	口頭指導研修(外部講師による研修)	2	26	1	5	10	7	2	1
警防課	整備研修	4	4					4	
	C A F S 取扱研修	2	16				5	11	
	任命調査員研修	1	17			2	5	10	
救急課	救急救命士就業前研修	1	6				2	4	
	救急救命士定期研修	1	73		8	16	34	15	
	救急隊員現場実習研修	12	36		2	9	16	9	
	新規救急小隊長研修	1	5				5		
合 計		224	1,760	27	283	624	550	271	5

消防吏員階級別資格取得状況

(令和3年4月1日現在)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
種 別									
消 防 吏 員 数		484	29	66	92	122	175		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	49	5	11	13	14	6	
		乙 種	105	12	19	17	34	23	
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	8		1	2	3	2	
		乙 種	423	21	43	111	119	129	
		丙 種	43	20	10	3	8	2	
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員	74	3	11	20	23	17	
		消 防 用 設 備 等 専 門 員	53	3	10	14	17	9	
		危 険 物 専 門 員	58	3	13	17	18	7	
	通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	467	29	66	92	122	158	
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	226	15	52	60	64	35
			2 種	1			1		
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	261	14	15	33	58	141
			2 種	18	4	6	6		2
	自 動 車 整 備 士	2 級	6		2	3	1		
		3 級	29	4	9	5	10	1	
救 急	救 急 隊 員		466	29	66	92	122	157	
	救 急 救 命 士		120	11	18	28	39	24	
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		63	4	15	24	20		
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		103	4	15	28	38	18	
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		96		14	28	37	17	
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		52	1	14	23	14		
	指 導 救 命 士		6		6				
救 助	救 助 隊 員		191		2	54	56	79	
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		122	12	22	38	39	11	
	潜 水 士		223	20	44	55	54	50	
	酸 欠 講 習 修 了 者		102	7	26	28	29	12	
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		68	15	22	18	13		
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		122	9	18	36	42	17	
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		4	1	1	1	1		
	小 型 船 舶 操 縦 士	2 級 (旧 4 級) 以 上	92	11	29	26	17	9	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		47	27	15	3	2		
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		15	4	8	2		1	
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		9		1	5	3		

公務災害等発生状況

(令和2年度中)

区分 勤務態様別		発生 件数	被災 者数	階 級 別					傷 病 程 度 別							死 亡		
									通 院			入 院						
				消防 監 以上	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満		一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月
公 務 災 害	火 災	1	1					1				1						
	救 急	1	1				1					1						
	救 助																	
	その他 災害																	
	水防 防災																	
	訓 練 中	1	1					1				1						
	一般業務中	1	1						1			1						
通 勤 災 害		4	4					2	2			2		2				
合 計		8	8				1	4	3		1	3	2	2				

消防表彰等の状況

(令和2年度中)

		個人	団体	
職員	市長表彰	市長副賞	6	
	消防庁長官表彰	功 勞 章	3	
		永年勤続功労章	3	
		消防防災科学技術賞		1
	兵庫県知事表彰	功 勞 章	4	
		永年勤続功労章	7	
		救急医療・救急業務功労者表彰	1	
	全国消防長会会長表彰	永年勤続功労者	1	
	全国消防協会会長表彰	全国優良消防職員	1	
	県医師会長表彰	救急医療業務功労者	1	
	市医師会会長感謝状	救急業務功績	1	
	局長・部長・署長表彰	勤務成績優秀表彰	33	
		優秀機関員表彰	35	
		救急活動表彰		3
消防業績表彰		3	2	
市民	消防局長表彰	人命救助表彰	6	
		消防業務協力	5	7
	消防署長表彰	人命救助表彰	1	
		消火協力表彰	2	

消防音楽隊の状況

(令和3年4月1日現在)

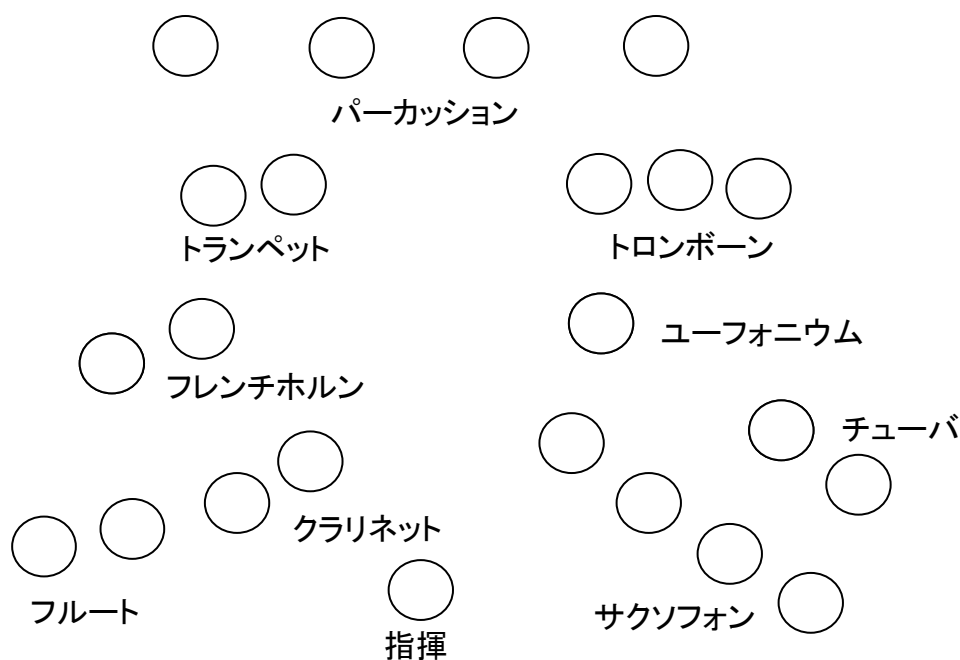
1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	7	7	7	2	24

2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォード	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	5	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ハーモニーディレクター	1	ティンパニ	5
ドラ	1		

3 消防音楽隊配置



4 出演状況

(令和2年度中)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

広報及び広聴



西宮市南部の風景

広報及び広聴の概要

1 広報

安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の実態を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM、新聞その他広報媒体を活用した消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・YouTube・ツイッター等のSNSでも消防広報を実施した。

2 広聴

広聴については、市民からの要望や意見等を迅速かつ的確に処理し、消防への信頼確保に努めた。

広聴件数は、前年より30件減少し41件処理した。内訳は、総務4件、企画2件、予防14件、指令2件、警防16件、救急3件となっている。

広報活動状況

(令和2年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	1,448		3,447	1596時間30分
消 防 教 室	22	4,321	77	26時間30分
幼年消防クラブ活動	3	428	7	2時間10分
少年消防クラブ活動				
家庭防火クラブ活動				
自主防災組織	90	303	143	53時間40分
合 計	1,563	5,052	3,674	1678時間50分

資料配布及び刊行物発行

(令和2年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	2,182	防 火 対 象 物 、 危 険 物 施 設
防 災 冊 子 等	176	危 険 物 施 設

広 聴 事 務 処 理 状 況

(令和2年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	4
	企 画	2
	予 防	14
	指 令	2
	警 防	16
	救 急	3
合 計		41

消 防 情 報 の 提 供 (報 道 機 関 等)

(令和2年度中)

情報提供先	区 分	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ他)		67	20	11	26	10
市広報紙等 (市政・庁内ニュース他)		74	20	11	26	17
ホームページ		152	69	24	24	35
合 計		293	109	46	76	62

予 防 行 政



大型商業施設における広報映像（住宅用火災警報器設置促進）の配信

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器について、未設置住宅や条例の設置基準に適合していない住宅に対して、設置の徹底を働きかけ、また、既に設置されている住宅については、作動確認や電池切れ住宅用火災警報器の交換等、適切な維持管理を呼びかけた。

また、火災発生時に人命危険が高い高齢者等に対しては、民生委員からの依頼のもと、住宅防災診断を行い、住宅防火に関する知識の普及を図った。

2 予防広報の推進

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、こんろ火災、放火火災、その他火災発生の上位を占める原因や特に注意喚起すべき情報について、市政ニュース、ホームページなどの広報媒体を活用し、類似火災発生未然防止を図った。

また、住宅用火災警報器の奏功事例、住宅用消火器等の住宅用防災機器に関する情報等、火災から身を守るための情報を併せて発信することで、防火意識の高揚を図った。

3 予防査察体制の充実強化

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である重大な消防法違反がある防火対象物をはじめ、5年を超えて消防用設備等点検結果報告がなされていない防火対象物や防火管理者未選任の特定防火対象物に対して優先的に査察を行い、消防用設備等の設置・維持管理及び防火管理体制の確立を徹底させた。

また、重大な消防法違反のある防火対象物に対しては、公表制度に基づき、利用者の安全を確保するとともに、機を逸することなく早期の是正を図った。

危険物施設については、施設の位置、構造、設備及び危険物の貯蔵、取扱いについて、法令基準に適合しているか着目し査察を行った。

防火対象物現況表

(令和3年4月1日現在)

防火対象物現況表 用途別		合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
合計		12,085	3,308	1,273	2,273	897	2,403	1,015	310	606
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	7		1	5		1		
	ロ	公会堂・集会場	8	6						2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	9				1	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店等								
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1				1		1
3項	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	128	52	9	10	11	26	2	2
4項		百貨店・市場・マーケット等	247	67	24	47	19	55	12	3
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	27	6	1	5	1		8	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,373	1,600	769	1,199	287	1,518	675	166
6項	イ	病院・診療所・助産所	131	38	15	36	4	21	7	4
	ロ	老人短期入居施設等	130	25	8	18	14	25	9	9
	ハ	老人デイサービスセンター等	194	56	19	34	14	36	11	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校	74	17	9	10	3	22	9	2
7項		小・中・高・大・各種学校	446	47	49	127	26	77	101	12
8項		図書館・美術館等	19	2	3	1	7		5	1
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	4		1				
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	6		3		2		1
11項		神社・寺院・教会等	147	54	15	14	9	24	15	5
12項	イ	工場・作業場	384	89	8	90	113	31		9
13項	イ	自動車車庫・駐車場	245	60	8	71	50	23	1	12
14項		倉庫	453	66	3	84	115	26	3	7
15項		前各項に該当しない事業所	956	301	55	147	135	141	42	51
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,181	418	200	217	36	218	60	8
	ロ	イ以外の複合用途対象物	886	381	77	154	53	154	41	6
17項		重要文化財等	14	1				1	11	
18項		50 m以上のアーケード	2	2						

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(令和3年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	4	4		4	4		4	4	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	7	4	11	7	4	11	7	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	3		3	3		3	3	
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	119	68	51	109	65	44	108	64	44
4項		百貨店・市場・マーケット等	177	130	47	165	123	42	164	122	42
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	19	19		19	19		19	19	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,331	1,331		1,263	1,263		1,254	1,254	
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	57	2	56	54	2	56	54	2
	ロ	老人短期入居施設等	110	109	1	109	108	1	109	108	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	112	101	11	108	98	10	108	98	10
	ニ	幼稚園・特別支援学校	42	40	2	42	40	2	42	40	2
7項		小・中・高・大・各種学校	116	112	4	114	111	3	113	110	3
8項		図書館・美術館等	10	8	2	10	8	2	10	8	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	3	2	4	3	1	4	3	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	2	2		2	2		2	2	
11項		神社・寺院・教会等	70	53	17	65	48	17	64	48	16
12項	イ	工場・作業場	57	57		57	57		56	56	
13項	イ	自動車車庫・駐車場									
14項		倉庫	27	27		27	27		27	27	
15項		前各項に該当しない事業所	272	224	48	257	212	45	257	212	45
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	833	753	80	733	669	64	714	651	63
	ロ	イ以外の複合用途対象物	203	187	16	180	168	12	178	166	12
17項		重要文化財等									
合計			3,587	3,300	287	3,343	3,094	249	3,308	3,061	247

防火対象物査察・検査実施状況

(令和2年度中)

用途別		区分	査察状況		消防用設備検査	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	7	20	2	2
	ロ	公会堂・集会場	8	7	1	1
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	12	5	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	3	1		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	113	115	7	8
4項		百貨店・市場・マーケット等	244	167	27	23
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	27	5	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,360	1,365	276	190
6項	イ	病院・診療所・助産所	130	74	20	19
	ロ	老人短期入居施設等	122	87	12	16
	ハ	老人デイサービスセンター等	167	146	35	38
	ニ	幼稚園・特別支援学校	74	24	4	2
7項		小・中・高・大・各種学校	444	173	103	44
8項		図書館・美術館等	19	12	3	1
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5			
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	1	1	
11項		神社・寺院・教会等	144	36	1	1
12項	イ	工場・作業場	384	128	33	19
13項	イ	自動車車庫・駐車場	236	47	10	8
14項		倉庫	448	187	36	20
15項		前各項に該当しない事業所	928	336	94	75
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,174	738	183	144
	ロ	イ以外の複合用途対象物	885	209	48	26
17項		重要文化財等	14	16	1	1
18項		50 m以上のアーケード	2			
合計			11,956	3,928	907	645

※ 国の調査報告要領に従い17項及び18項以外は延べ面積150㎡以上のものを計上している

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(令和3年4月1日現在)

用途別		区分	合計 (棟)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17~31	10階 以下 で31 m以 上の もの	
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	2	1													1	
	ロ	公会堂・集会場	2	1	1													
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場・ダンスホール	1														1	
	ハ	性風俗関連特殊営業店等																
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	1		1													
3項	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	8	5	1		1	1										
4項		百貨店・市場・マーケット等	2	2														
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8		2	1	2	1					1				1	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,753	712	374	266	83	46	67	59	23	20	47	31	3	7	15	
6項	イ	病院・診療所・助産所	21	7	8	2						1	1				2	
	ロ	老人短期入居施設等	24	14	7	1							1				1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	1													
	ニ	幼稚園・特別支援学校																
7項		小・中・高・大・各種学校	48	32	8	1						1	1				5	
8項		図書館・美術館等																
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの																
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																
10項		車両の停車場、船舶の発着場																
11項		神社・寺院・教会等	5	2	2												1	
12項	イ	工場・作業場	24	15	5												4	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	10	1	1	1	1										6	
14項		倉庫	16	6	3	3											4	
15項		前各項に該当しない事業所	70	41	14	6	1					1					7	
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	262	142	57	26	11	3	4	1	1	2	3				8	4
	ロ	イ以外の複合用途対象物	240	113	56	28	11	10	4	5	4	1	2	1			2	3
17項		重要文化財等																
18項		50m以上のアーケード																
合計(棟)			2,501	1,097	541	335	110	61	75	65	31	25	54	32	3	17	55	

防火管理に関する講習の実施状況

(令和2年度中)

講 習 区 分	講 習 回 数	受 講 者 数
甲種防火管理新規講習	5	184
甲種防火管理再講習	1	22
防火防災管理新規講習		
防火防災管理再講習	1	15

建築物確認申請等処理状況

(令和2年度中)

合計	新 築	増 築	改 築	修 繕	模様替	用途変更	その他
426	316	26				6	78

12条報告・仮使用承認等処理状況

(令和2年度中)

所 属 別	合 計	消 防 局	西 宮 消 防 署	鳴 尾 消 防 署	瓦 木 消 防 署	北 消 防 署
12条報告等協議	21	21				
仮使用承認の協議	2		2			

危険物製造所等設置許可数

(令和3年4月1日現在)

合 計		273	構成比(100%)
製 造 所		4	1.5%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	20.5%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	4	1.5%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10	3.6%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	65	23.8%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	7	2.6%
	屋 外 貯 蔵 所	4	1.5%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	86	31.5%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.7%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	35	12.8%

危険物製造所等類別設置許可数

(令和3年4月1日現在)

区 分	種 別	合 計	種 別						混 在
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	
合 計		273	1			270			2
製 造 所		4				4			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	1			53			2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	4				4			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	10				10			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	65				65			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	7				7			
	屋 外 貯 蔵 所	4				4			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	86				86			
	第 1 種 販 売 取 扱 所								
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	35				35			

所属別危険物施設等現況及び査察状況

(令和2年度中)

施設 区分		政 令 危 険 物													少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物			
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所								
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送			一 般		
合 計		273	4	56	4	10	65	0	7	4	86	0	2	0	35	486	155		
所 属 別 施 設	西 宮	本 署	45		6	3	2	14				11		2		7	122	22	
		北夙川分署	7		1		1	1				3				1	16	1	
	鳴 尾	本 署	55	2	11			18			1	13				10	96	53	
		浜分署	74	2	20		4	11		2	2	20				13	98	30	
	瓦 木	本 署	18		7			4				6				1	43	2	
		甲東分署	11		3		3	2				2				1	13		
	北	本 署	23		2	1		3		5	1	9				2	24		
		山口分署	40		6			12				22					74	47	
査 察 状 況	査 察 実 施 数		138	1	2	3	2	15		7	0	87		0		21	93	21	
	消 防 局 (予防課)		65							7		58							
	西 宮	本 署	8			2		3								3	6		
		北夙川分署	2				1									1	6		
	鳴 尾	本 署	5													5	8	5	
		浜分署	16	1				1				4				10	22	6	
	瓦 木	本 署	2									1				1	2		
		甲東分署	2		1		1										4		
北	本 署	8			1		1				5				1	17			
	山口分署	30		1			10				19					28	10		

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(令和2年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
	0				
0	水 圧 検 査				
	小計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	0				

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(令和2年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
90	28	62

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(令和3年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	486	155	15	5	48	20	250	12

住宅防災診断実施状況

(令和2年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			3
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問診断小計
	3	0	3
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
			自己診断小計

住宅防災診断指導件数

(令和2年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	2
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、まめに掃除しましょう。	1
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物は置かないようにしましょう。	
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	
消火器は必ず設置しておきましょう。	
消火器の使い方を覚えておきましょう。	
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	
地震の揺れにより家具類が転倒・落下し怪我をしたり逃げ道をふさがれたりします。ぜひ対策しておきましょう。	1
いざという時のために非常持ち出し袋を用意しておきましょう。	
避難生活や断水に備えて水を3日分は準備しておきましょう。	
特に津波が発生した場合は避難が重要となります。地域の指定避難場所や津波避難ビルの場所を確認しておきましょう。	1
学校や勤務先などで被災した場合、誰がどこに避難するのかどのように連絡を取り合うのかなどを話し合っておくことで、安否確認がスムーズにできます。	

火 災 統 計



てんぷら油火災 燃焼実験

火災の概要

1 概況

令和2年中の火災は、84件で前年85件と比べ1件減少している。これは、過去10年間では、最も少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が56件（前年55件）、車両火災が12件（前年9件）、その他火災が16件（前年21件）となっている。

焼損棟数は62棟（前年58棟）、り災世帯数は44世帯（前年40世帯）、り災人員は77人（前年96人）、焼損面積は498㎡（前年289㎡）、火災損害額は1億3,777万2千円（前年3,356万円）となっている。火災損害額を1件当たりに換算すると164万円（前年39万5千円）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

令和2年中の火災は、4.3日に1件の割合で発生している。（前年4.3日に1件）人口1万人当りの出火件数は、1.7件（前年1.7件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、56件（67%）で最も多く、その他火災が16件（19%）、車両火災が12件（14%）の順となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、6月が11件と最も多く、続いて3月、11月、12月の9件、5月の8件となっている。出火件数の少ない月は、1月の3件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、月曜日が24件と最も多く、続いて水曜日、金曜日が13件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、日曜日の5件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、20時台が7件と最も多く、続いて13時台が6件となっている。4時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が32件、鳴尾消防署が18件、瓦木消防署が24件、北消防署が10件となっている。

3 死者

火災による死者は、4人（前年4人）である。

死者の年齢は、65歳以上の方が4名で全体を占めている。

死者が生じた内訳は、着衣着火が1人、身体不自由が1人、不明が2人となっている。

4 負傷者

火災による負傷者は、11人で前年8人より3人増加している。

負傷者の年齢は、6～64歳の方が8名で全体の73%を占めている。

負傷者が生じた内訳は、消火中が7人、作業中が3人、避難中が1人となっている。

負傷程度は、重症が1人、中等症が5人、軽症が5人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は、62棟で前年58棟より4棟増加している。

内訳は、全焼4件（前年1件）、半焼2件（前年2件）、部分焼13件（前年15件）、ぼや43件（前年40件）となっている。

6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は44世帯で、前年40世帯と比べ4世帯増加し、リ災人員は77人で、前年96人と比べ19人減少している。

内訳は、全損5世帯6人、半損3世帯7人、小損36世帯64人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は、498㎡で、前年289㎡と比べ209㎡増加している。

8 出火原因

出火原因は、「こんろ」が24件で最も多く、続いて、「放火（放火の疑い含む）」10件、「たばこ」9件の順となっている。

(1) 第1位「こんろ」

こんろによる出火件数は24件で、焼損面積が55㎡（前年48㎡）、焼損表面積が10㎡（前年90㎡）、損害額が2,033万9千円（前年779万3千円）となっている。

燃料別に見ると、ガスこんろ等のガスを燃料とする機器が17件（前年13件）で、大半を占めている。

経過別に見ると、「放置する、忘れる」が11件（前年10件）と最も多く、こんろを火にかけてたが消し忘れたことによるものである。

(2) 第2位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は10件で前年12件と比べ2件減少している。内訳は、火災種別で見ると、建物火災が4件（前年4件）、その他火災が6件（前年8件）となっている。

(3) 第3位「たばこ」

たばこによる出火件数は9件で、焼損面積が45㎡（前年37㎡）、焼損表面積が0㎡（前年45㎡）、損害額が1,351万3千円（前年374万4千円）となっている。

経過別に見ると、「不適當なところに捨てる」が6件（前年5件）で最も多く、主にたばこの不始末が原因となっている。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、日曜日、月曜日、木曜日、土曜日が2件となっている。また、時間別では、20時台が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は、1億3,777万2千円で、前年3,356万円と比べ1億421万2千円増加している。また、建物損害額は、損害総額の97%に当たる1億3,417万6千円で、前年2,668万8千円と比べ1億748万8千円増加している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	令和2年 A	令和元年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)	
出火件数		件	84	85	△ 1	△ 1.2	
火災種別	建物火災	件	56	55	1	1.8	
	林野火災						
	車両火災		12	9	3	33.3	
	船舶火災						
	航空機火災						
	その他火災		16	21	△ 5	△ 23.8	
焼損棟数	合計	棟	62	58	4	6.9	
	全焼		4	1	3	300.0	
	半焼		2	2			
	部分焼		13	15	△ 2	△ 13.3	
	ぼや		43	40	3	7.5	
り災世帯	合計	世帯	44	40	4	10.0	
	全損		5	3	2	66.7	
	半損		3	2	1	50.0	
	小損		36	35	1	2.9	
り災人員		人	77	96	△ 19	△ 19.8	
焼損面積	建物	㎡	498	289	209	72.3	
	1件当り		8.9	5.3	3.6		
	林野	a					
	1件当り						
損害額	総額	千円	137,772	33,560	104,212	310.5	
	火災1件当り		1,640	395	1,245		
	市民1人当り		円	284	69	215	
	建物	千円	134,176	26,688	107,488	402.8	
			建築物	125,520	18,640	106,880	573.4
			収容物	8,656	8,048	608	7.6
	建物1件当り		2,396	485	1,911		
	林野						
	車両		2,803	6,564	△ 3,761	△ 57.3	
	船舶						
	航空機						
	その他		793	308	485	157.5	
	爆発						
死者		人	4	4			
負傷者			11	8	3	37.5	
一日当り	火災件数	件	0.2	0.2			
	建物火災		0.2	0.2			
	建物焼損面積	㎡	1.4	0.8	0.6		
	損害額	千円	377	92	285		
人口1万人当りの出火件数(出火率)		件	1.7	1.7			

西宮市推計人口
令和3年1月1日現在
485,655人
令和2年1月1日現在
487,412人

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成23年	144	150,134	1,069	3	20
平成24年	113	77,330	686		25
平成25年	112	91,106	513	3	8
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557		15
平成29年	96	34,569	371		10
平成30年	97	146,023	382		17
令和元年	85	33,560	289	4	8
令和2年	84	137,772	498	4	11
10年間平均	104	116,942	787	2	15

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り 災 人 員	焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)
	合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	32	23		4		5	23	1	1	4	17	13	2	1	10	25	226		2	5	44,460	
西宮	19	16				3	16	1	1	2	12	8	1	1	6	18	206		2	3	38,678	
北夙川	13	7		4		2	7			2	5	5	1		4	7	20			2	5,782	
鳴尾消防署	18	13		3		2	16	2	1	3	10	12	1	1	10	19	134		1	1	33,995	
鳴尾	15	11		2		2	14	2	1	3	8	12	1	1	10	19	134		1	1	33,979	
浜	3	2		1			2				2										16	
瓦木消防署	24	16		1		7	18	1		5	12	14	2		12	24	114		1	3	55,911	
瓦木	17	9		1		7	9			2	7	8	1		7	13	25			1	2,675	
甲東	7	7					9	1		3	5	6	1		5	11	89		1	2	53,236	
北消防署	10	4		4		2	5			1	4	5		1	4	9	24	1		2	3,406	
北	4	3		1			3			1	2	3		1	2	5	24	1		2	3,129	
山口	6	1		3		2	2				2	2			2	4					277	
合計	84	56		12		16	62	4	2	13	43	44	5	3	36	77	498	1	4	11	137,772	

月別火災発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	合計	84											
	建物	3	6	9	5	8	11	7	5	5	7	9	9
	林野	3	5	8	1	4	7	6	3	4	1	6	8
	車両												
	船舶				2	1	2	1	1		2	2	1
	航空機												
	その他		1	1	2	3	2		1	1	1	1	
	合計	3	10	8	1	4	8	6	3	4	1	6	8
	全焼		3	1									
	半焼		1										1
	部分焼		5	2	1							2	2
	ぼや	3	1	5		4	7	6	6	3	4	1	3
	合計	2	6	7		3	6	3	3	3	3	5	5
	全損		2	1									1
半損		1	1									1	
小損	2	3	5		3	6	3	3	3	3	3	3	
合計	2	10	11		5	13	8	8	4	4	12	12	
全損		2	2									1	
半損		3	2									2	
小損	2	5	7		5	13	8	8	4	4	9	9	
合計	18	88,821	21,233	381	13	489	733	671	86	1,630	17,561	6,136	
建物小計	18	88,663	21,230	183	13	331	206	15	86	42	17,392	5,997	
建物	14	84,731	20,395	102	12	309	2	83	83		14,587	5,285	
収容物	4	3,932	835	81	1	22	204	15	3	42	2,805	712	
林野													
車両		34		193		138	496	632		1,128	62	120	
船舶													
航空機													
その他		124	3	5		20	31	24		460	107	19	
爆発													
合計													
爆発													
合計	137,772												
建物小計	134,176												
建物	125,520												
収容物	8,656												
林野													
車両	2,803												
船舶													
航空機													
その他	793												
爆発													
合計													
爆発													

曜日別火災発生件数

種別	曜日								
	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
建物火災	56	5	16	8	9	6	7	5	
林野火災									
車両火災	12		3	2	3	1	2	1	
船舶火災									
航空機火災									
その他火災	16		5	1	1	3	4	2	
合計	84	5	24	11	13	10	13	8	0

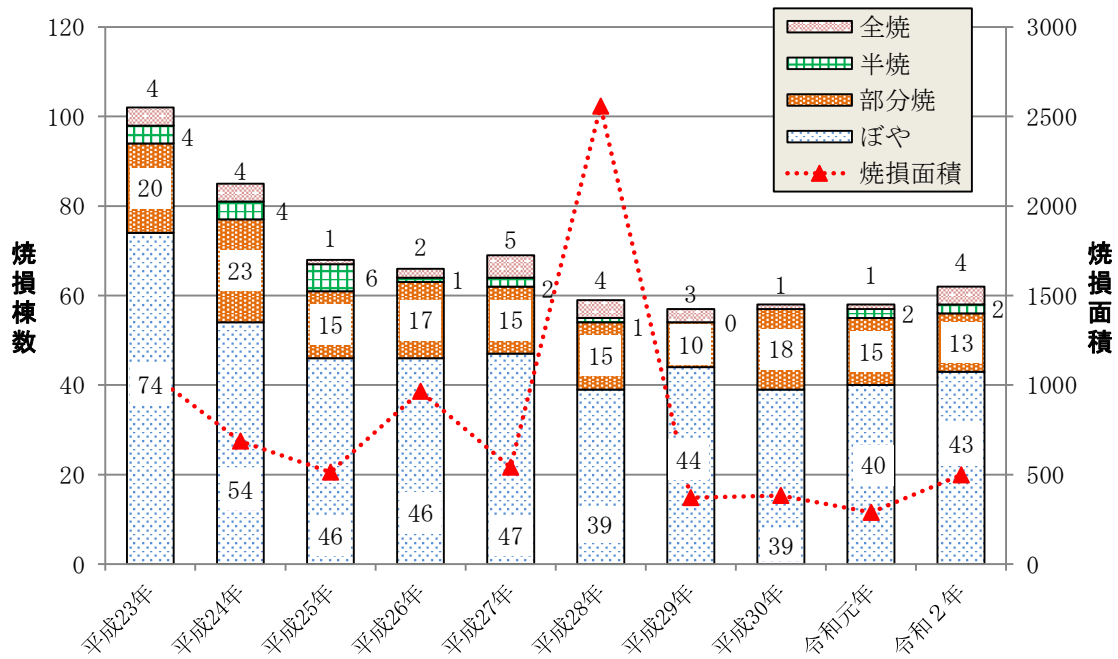
時間別火災発生件数

種別	時間																									
	合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
建物火災	56	3	2	1	1		2	1	4	3	3	1	4	2	3	2	2	2	4	3	3	3	4	3		
林野火災																										
車両火災	12				1			1	1		2	1		1		2	1						2			
船舶火災																										
航空機火災																										
その他火災	16	2		1						1		1		1	3		1		1	1		2		1	1	
合計	84	5	2	2	2	0	2	2	5	4	5	3	4	4	6	4	4	2	5	4	3	7	4	4	1	0

覚知方法別火災発生件数

覚知方法	種別	出火件数						比率 (%)
		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	
専用電話 (IP)		3	3					4
専用電話 (固定)		4	2		1		1	5
専用電話 (携帯)		34	19		7		8	40
加入電話 (固定)		4	1		2		1	5
加入電話 (携帯)								
駆け付け通報								
事後聞知		38	30		2		6	45
その他		1	1					1
合計		84	56	0	12	0	0	16

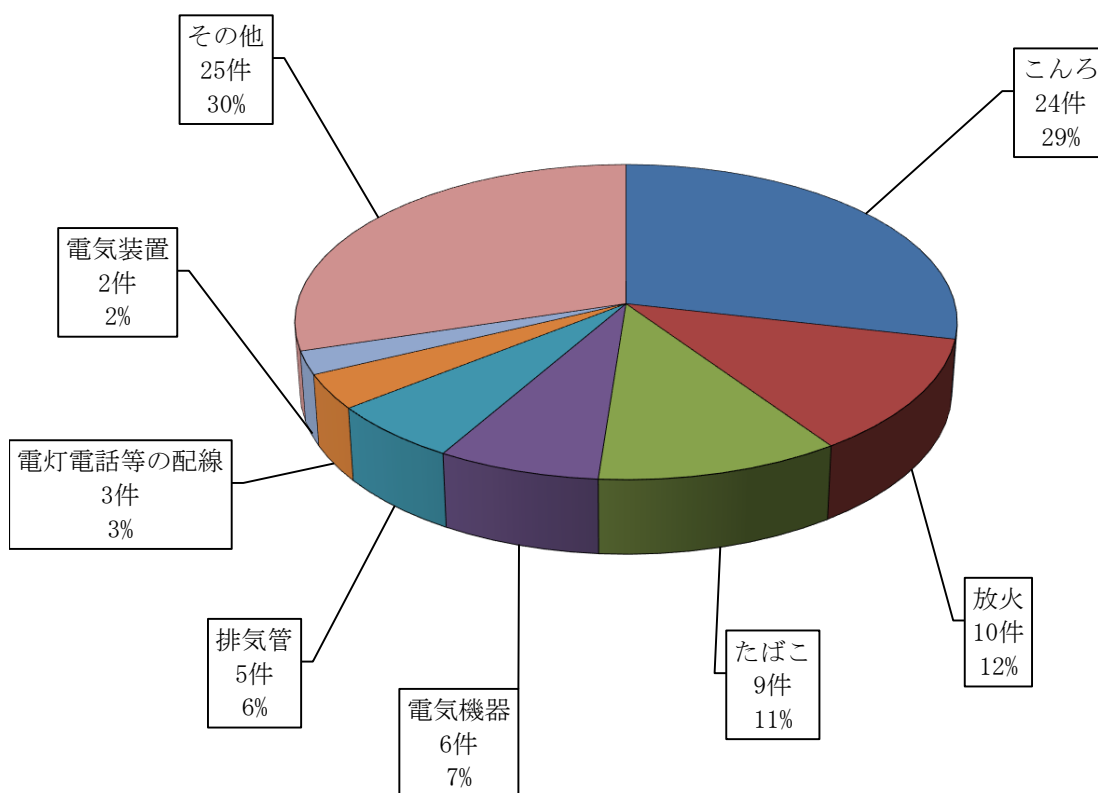
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	令和2年				令和元年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)
建物火災	56	134,324	98	2,399	55	26,688	80	485
林野火災								
車両火災	12	3,295	2	275	9	6,804	20	756
船舶火災								
航空機火災								
その他火災	16	153		10	21	68		3
合計	84	137,772	100	1,640	85	33,560	100	395

令和2年の出火原因



※ 放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
1位	放火 43	放火 25	放火 33	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26	こんろ 16	こんろ 19	こんろ 24
2位	たばこ 23	こんろ 21	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18	配線器具 12	放火 12	放火 10
3位	こんろ 21	たばこ 20	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8	放火 11	たばこ 10	たばこ 9
4位	ストーブ 6	火遊び 4		配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7	たばこ 9	電気機器 6	電気機器 6
5位	配線器具 5	マッチ・ ライター 3	電気機器 配線器具 溶接機・ 溶断機 灯火 各4	排気管 電気装置 電灯電話 等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5	電気機器 灯火 各4	ストーブ 配線器具 電灯電話 等の配線 各3	排気管 5

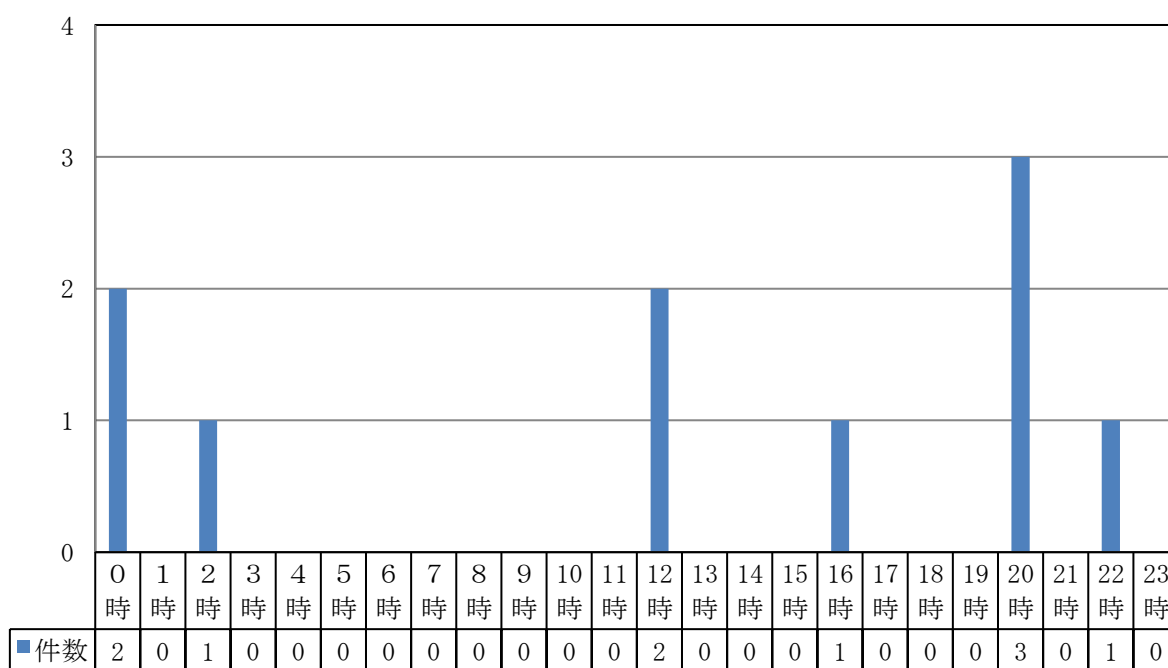
放火件数の推移

年 件数	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	平 均
件 数	43	25	33	35	29	11	26	11	12	10	24

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
件 数	10	2	2	1		2	1	2	

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着 火 物	件 数
ごみ類	3
不明	1
衣類	1
繊維製品	1
合成樹脂と成形品	1
紙屑, わら屑	1
繊維屑	1
枯草 (生えたまま枯れたもの)	1

主な火災発生状況

- ① 損害額 1,000万円以上
- ② 焼損面積 建物300㎡、林野200a 以上
- ③ 即報、詳報に該当する火災
- ④ 消防長が必要と認める火災

No.	月 日	種 別	出 火 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発生場所	火元用途	死 者	負 傷 者	焼損状況
1	2月1日	建物	21時20分	翌2時49分	専用電話 (携帯電話)	上ヶ原八番町	住宅	1	1	鉄筋コンクリート造2階建一部木造平屋建長屋住宅1棟2戸のうち、一室の一部、付属するプレハブ、その他の住戸の外壁及び収容物を焼損したものの。
2	2月5日	建物	13時40分	17時05分	専用電話 (携帯電話)	甲子園洲島町	店舗兼用住宅			木造瓦棒葺外壁モルタル塗2階建店舗兼用住宅1棟を全焼したものの。
3	2月24日	建物	8時00分	8時54分	専用電話 (携帯電話)	安井町	住宅			軽量鉄骨造瓦葺外壁モルタル塗2階建一般住宅1棟のうち、1、2階の一部及び収容物並びに外壁を焼損したものの。
4	3月11日	建物	6時00分	8時33分	専用電話 (携帯電話)	中前田町	住宅	2		木造スレート葺外壁サイディングボード張2階建一般住宅1棟を全焼したものの。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

出動回数	出動台数	出動人員
2	5	20
4	26	104
1	4	18
1	2	7
1	3	12
1	3	13
2	19	74

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

出動回数	出動台数	出動人員
2	5	20
2	22	90
1	4	18
1	2	7
1	3	13
1	18	72

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

消防局消防活動状況

区 分		合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
出 動 件 数	事後聞知	38	30		2			6	
	第 1 出 動	46	26		10			10	
	第 2 出 動								
	第 3 出 動								
	合 計	84	56		12			16	
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	40	32	2			6	
		人員	169	135	8			26	
	第 1 出 動	台数	288	224	31			33	
		人員	1,048	815	101			132	
	第 2 出 動	台数							
		人員							
	第 3 出 動	台数							
		人員							
	特命出動	台数	6	3	3				
		人員	16	8	8				
	合 計	台数	334	259	36			39	
		人員	1,233	958	117			158	
	放 水 台 数	第 1 出 動	55	34		15			6
		第 2 出 動							
第 3 出 動									
特 命 出 動		2			2				
合 計		57	34		17			6	
放 水 時 間	5 分 未 満	4	1		1			2	
	5 ～ 10 分	4			3			1	
	11 分 以 上	48	32		13			3	
使用ホース数		373	250		79			44	
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	24	18		1			5	
	5 ～ 10 分	18	8		6			4	
	11 分 以 上	4			3			1	

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上

※ 現場までの所要時間は、事後聞知を除く

その他災害統計



ドクターヘリ誘導

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

令和2年中のその他災害発生件数は、前年より22件減少し、1,034件発生している。

内訳は、「緊急確認」387件（37%）が最も多く、「支援活動」234件（23%）、「補完」221件（21%）「緊急措置」119件（12%）、「その他」73件（7%）となっている。

消防署別では、西宮消防署で279件、鳴尾消防署で222件、瓦木消防署で210件、北消防署で323件発生している。

2 出動状況

令和2年中のその他災害による出動は、1,329台の5,124人となっている。

消防署別出動状況は、西宮消防署が341台の1,414人（本署～245台、1,021人、北夙川～96台、393人）、鳴尾消防署が308台の1,227人（本署～217台、863人、浜～91台、364人）、瓦木消防署が317台の1,240人（本署～187台、727人、甲東～130台、513人）、北消防署が363台の1,243人（本署～178台、612人、山口～185台、631人）となっている。

3 災害内容

発生件数1,034件の災害内容の主な内訳は、「自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動」321件（31%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」203件（20%）、「道路上における活動隊の安全確保」167件（16%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」74件（7%）、「救急隊の支援に携わった事案」59件（6%）となっている。

所属別その他災害発生状況

区分	所属別 合計	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			
		小計	本署	北夙川	小計	本署	浜	小計	本署	甲東	小計	本署	山口	
緊急措置	火災出動指令により出動したが、火災ではなかった事案	40	7	5	2	14	10	4	14	8	6	5	3	2
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	74	21	11	10	23	15	8	13	12	1	17	10	7
	ガス漏れ	3				1	1		1	1		1		1
	その他緊急対応措置が必要な事案	2	1	1					1	1				
	小計	119	29	17	12	38	26	12	29	22	7	23	13	10
緊急確認	火災と紛らわしい煙の確認	21	7	2	5	3	2	1	6	4	2	5	1	4
	異臭、異音	22	9	5	4	3	2	1	7	4	3	3	2	1
	自火報、警報ベル、非常ベルの鳴動	321	119	94	25	100	77	23	86	48	38	16	7	9
	ガス、電気等の消し忘れ	1							1		1			
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	5				3	3		2	2				
	その他緊急確認が必要な事案	17	4	4		7	7		3	1	2	3	1	2
小計	387	139	105	34	116	91	25	105	59	46	27	11	16	
支援活動	救急隊の支援に携わった事案	59	28	21	7	12	9	3	13	4	9	6	2	4
	道路上における活動隊の安全確保	167	61	48	13	26	12	14	40	34	6	40	19	21
	上記に該当しない支援活動	8				7		7				1		1
	小計	234	89	69	20	45	21	24	53	38	15	47	21	26
その他	自然災害対応	6	1		1	2	1	1	1		1	2	2	
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	14	8	4	4	2	1	1	3	2	1	1	1	
	焚き火、野焼き、火遊び等	1				1	1							
	高齢者、身体障害者等の介助	45	9	6	3	17	14	3	13	9	4	6	2	4
	その他社会的危険が考えられる事案	7	4	2	2	1	1		2		2			
小計	73	22	12	10	23	18	5	19	11	8	9	5	4	
補完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	203							4	4		199	100	99
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	18										18	2	16
	小計	221	0	0	0	0	0	0	4	4	0	217	102	115
合計	1,034	279	203	76	222	156	66	210	134	76	323	152	171	
出動台数	1,329	341	245	96	308	217	91	317	187	130	363	178	185	
出動人員	5,124	1,414	1,021	393	1,227	863	364	1,240	727	513	1,243	612	631	

水防統計



水防工法訓練

水防災活動状況

(令和2年中)

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	備 考
1	1月8日(水)	暴風波浪警報	警防課班別	なし	
2	6月19日(金)	連続雨量100mm超	南部地域巡らを実施	巡ら：6回 6台 19名	
3	6月30日(火)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施 警防課班別	巡ら：8回 8台 24名	
4	7月3日(金) ～ 7月4日(土)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 26名	
5	7月6日(月) ～ 7月7日(火)	連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 25名	
6	7月8日(水)	梅雨前線停滞	警防課班別 水防警戒指令(基本)	巡ら：8回 8台 27名 水防作業：1回 1台 4名 巡視：1回 1台 4名	水防作業～西宮名塩駅バスロータリー付近の冠水(約30cm)の解消
7	7月11日(土)	連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：9回 9台 29名	
8	7月14日(火)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施	巡ら：16回 16台 52名	
9	7月24日(金) ～ 7月25日(土)	梅雨前線停滞	各署巡らを実施	巡ら：24回 24台 79名	
10	7月30日(木)	時間雨量30mm超及び 大雨警報	各署巡らを実施 警防課班別	巡ら：8回 8台 25名	
11	8月29日(土)	時間雨量30mm超	南部地域巡らを実施	巡ら：6回 6台 19名	
12	9月5日(土)	時間雨量30mm超	南部地域巡らを実施	巡ら：6回 6台 20名	
13	9月25日(金)	連続雨量100mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 25名	
14	10月10日(土)	連続雨量100mm超	南部地域巡らを実施	巡ら：6回 6台 19名	
15	12月30日(水)	暴風波浪警報	警防課班別	なし	

救急統計



車内収容の様子

救急の概要

1 概況

令和2年中の救急出動件数は21,602件、搬送人員は19,575人で、前年に比べ出動件数は3,489件、搬送人員は3,218人減少している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は「急病」が全体の62.6%を占め、「一般負傷」が17.4%、「交通事故」が6.8%となっている。

また1日の平均出動件数は59.2件で24分に1回救急車が出動し、西宮市民の22人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

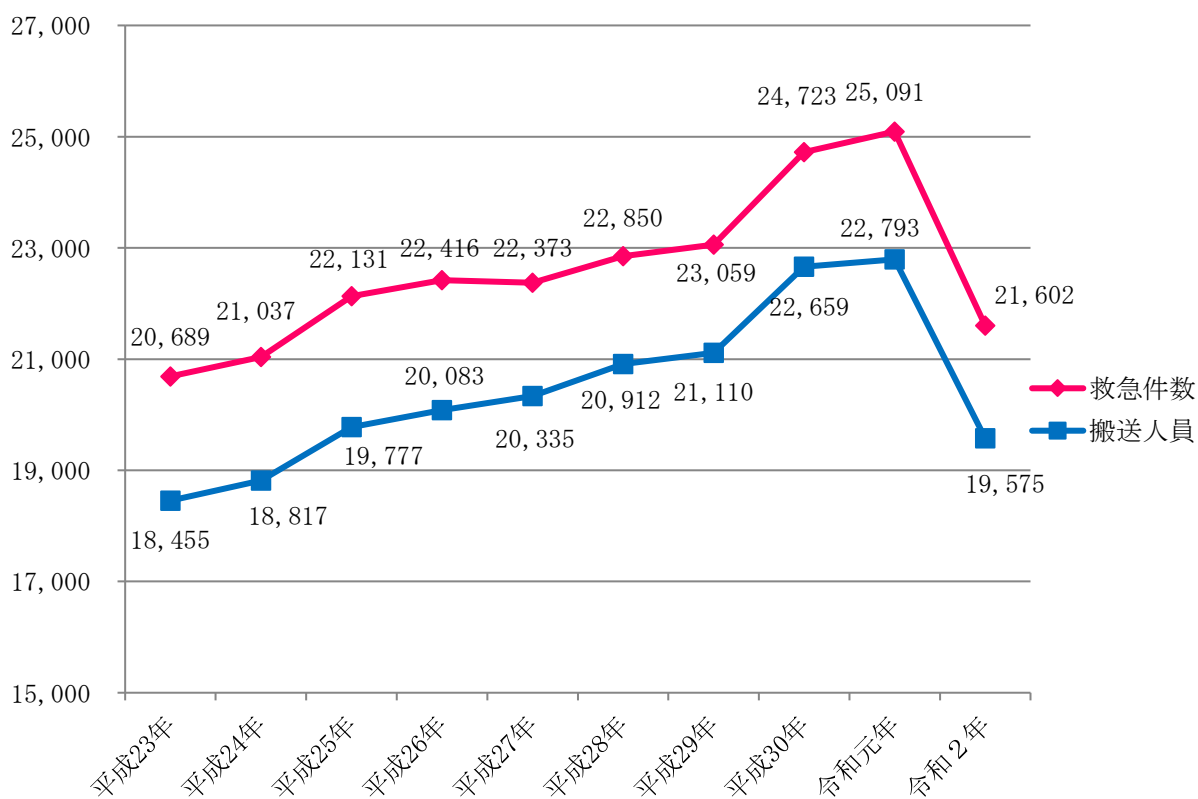
応急手当の普及促進については、新型コロナウイルス感染症の影響により救急講習の開催数は減少したが、感染防止対策を徹底した上で可能な限り開催し、応急手当普及員の育成も推進することで、市民による病院前救護体制の強化及び救命効果の向上を図った。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務への理解と協力を求めるためにホームページに加え、フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	令和2年	令和元年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	21,602 件	25,091 件	-3,489 件	-13.9 %
傷 病 者 搬 送 人 員	19,575 人	22,793 人	-3,218 人	-14.1 %
1 日 平 均 出 動 件 数	59.2 件	68.7 件	西宮市推計人口 令和2年1月1日現在 487,412人 令和3年1月1日現在 485,655人 前年比 -1,757人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	24分に1件	21分に1件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	22人に1件	19人に1件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	25人に1人	21人に1人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	445 件	515 件		

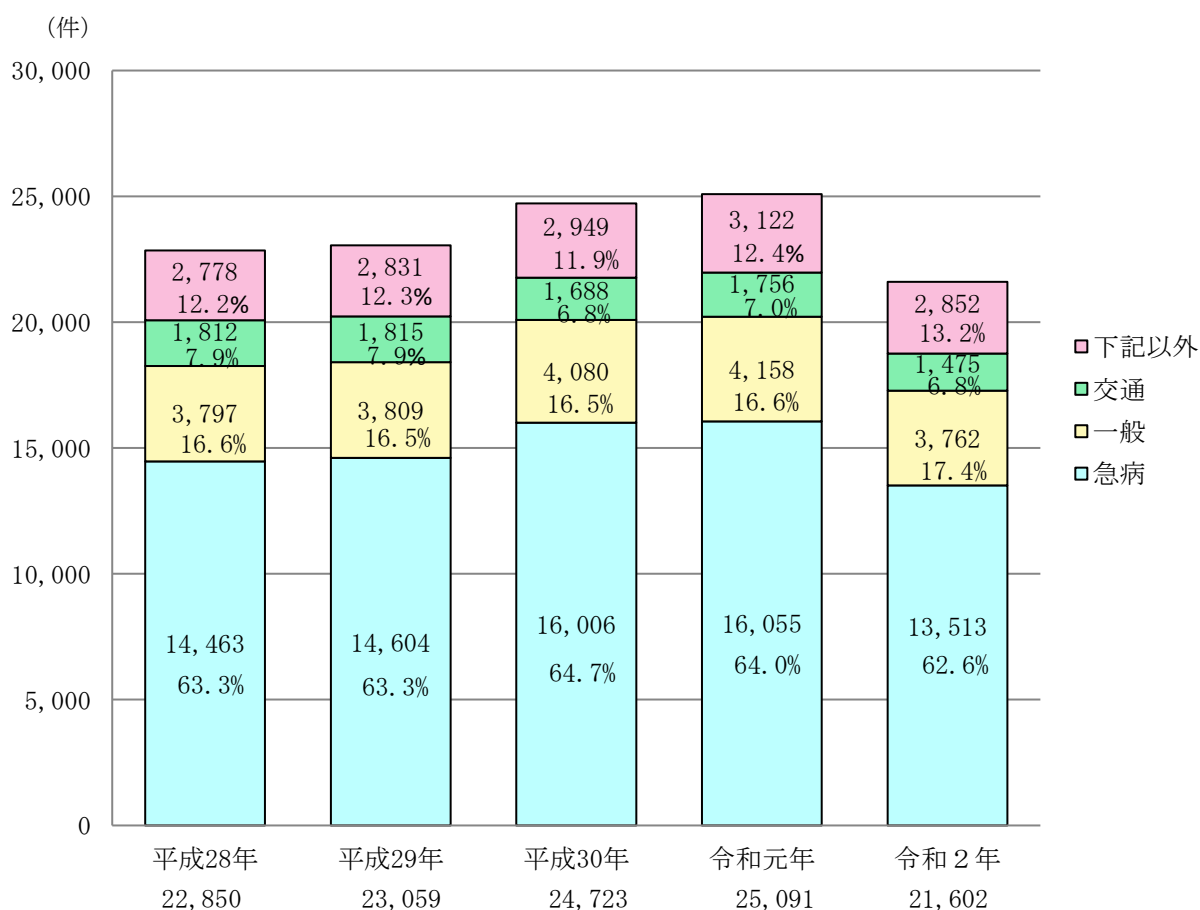
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	自 損 行 為	労 働 災 害	加 害	運 動 競 技	火 災	水 難	自 然 災 害	そ の 他
出動件数 (件)	21,602	13,513	1,475	3,762	211	159	88	111	10	5	3	2,265
構成比 (%)	100	62.6	6.8	17.4	1.0	0.7	0.4	0.5	0.1	0.0	0.0	10.5
搬送人員 (人)	19,575	12,635	1,388	3,536	145	155	74	111	8	2	3	1,518
構成比 (%)	100	64.5	7.1	18.1	0.7	0.8	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	7.8

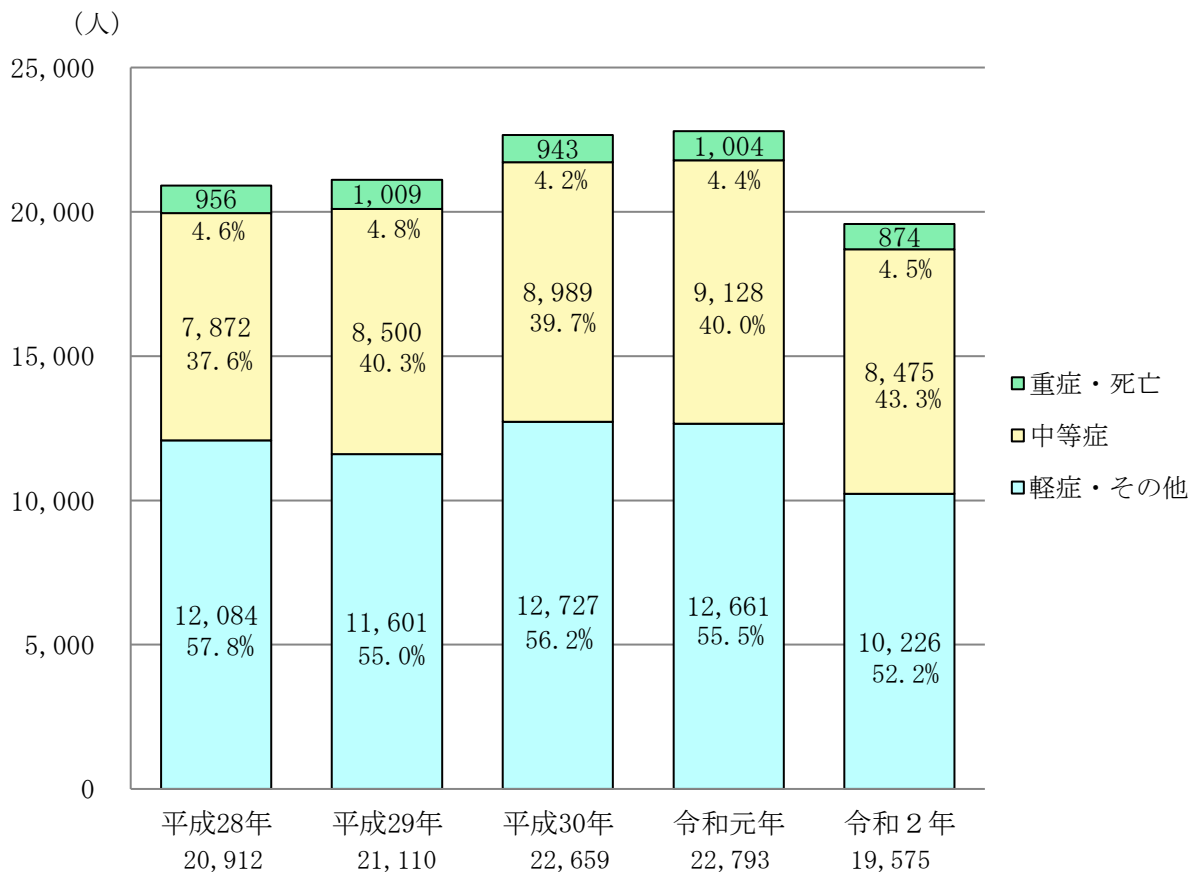
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

		計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	搬送人員(人)	12,635	69	265	5,940	6,361	
	構成比(%)	100	0.5	2.1	47.0	50.4	
交通事故	搬送人員(人)	1,388	3	32	238	1,115	
	構成比(%)	100	0.2	2.3	17.2	80.3	
一般負傷	搬送人員(人)	3,536	4	338	884	2,310	
	構成比(%)	100	0.1	9.6	25	65.3	
その他	搬送人員(人)	2,016	38	125	1,413	440	
	構成比(%)	100	1.9	6.2	70.1	21.8	
計	搬送人員(人)	19,575	114	760	8,475	10,226	0
	構成比(%)	100	0.6	3.9	43.3	52.2	0.0

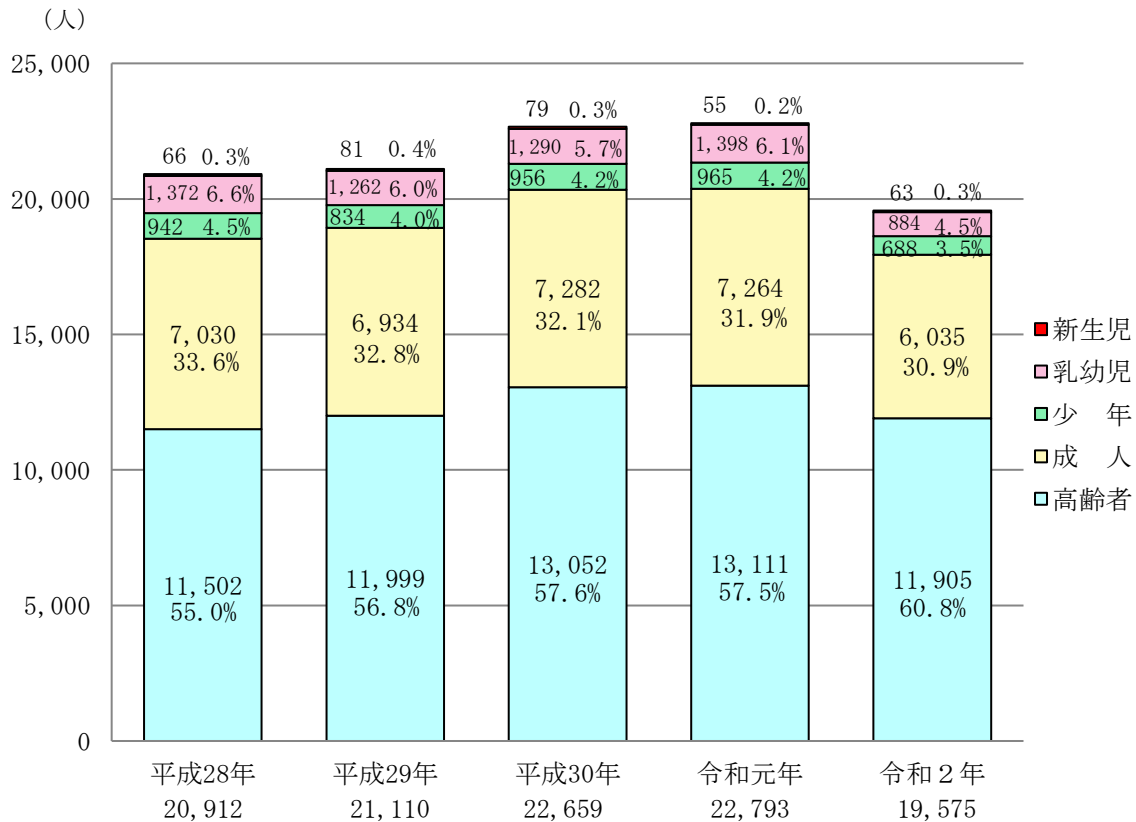
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

		計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	搬送人員(人)	12,635	7	486	322	3,812	8,008
	構成比(%)	100	0.1	3.8	2.5	30.2	63.4
交通事故	搬送人員(人)	1,388		49	118	843	378
	構成比(%)	100	0.0	3.5	8.5	60.8	27.2
一般負傷	搬送人員(人)	3,536	3	317	133	598	2,485
	構成比(%)	100	0.1	9.0	3.7	16.9	70.3
その他	搬送人員(人)	2,016	53	32	115	782	1,034
	構成比(%)	100	2.6	1.6	5.7	38.8	51.3
計	搬送人員(人)	19,575	63	884	688	6,035	11,905
	構成比(%)	100	0.3	4.5	3.5	30.9	60.8

年齢区分別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

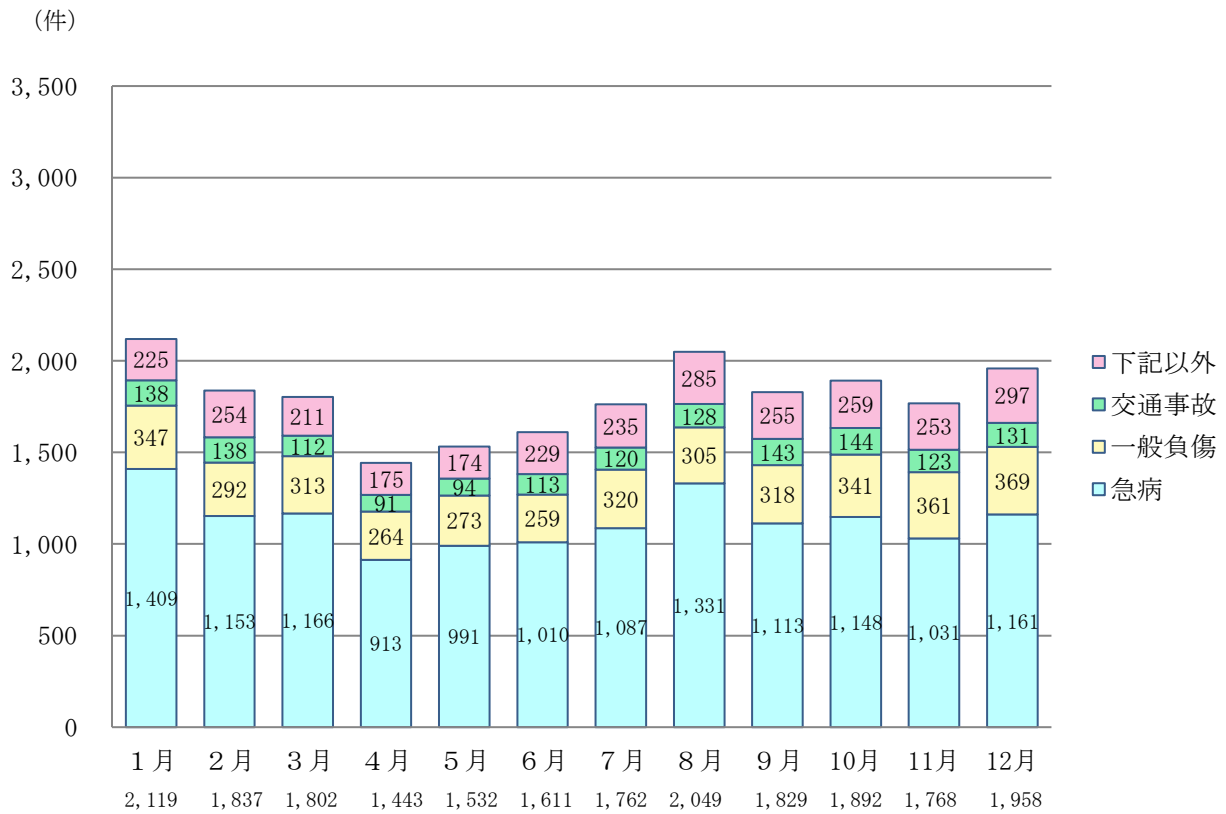
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

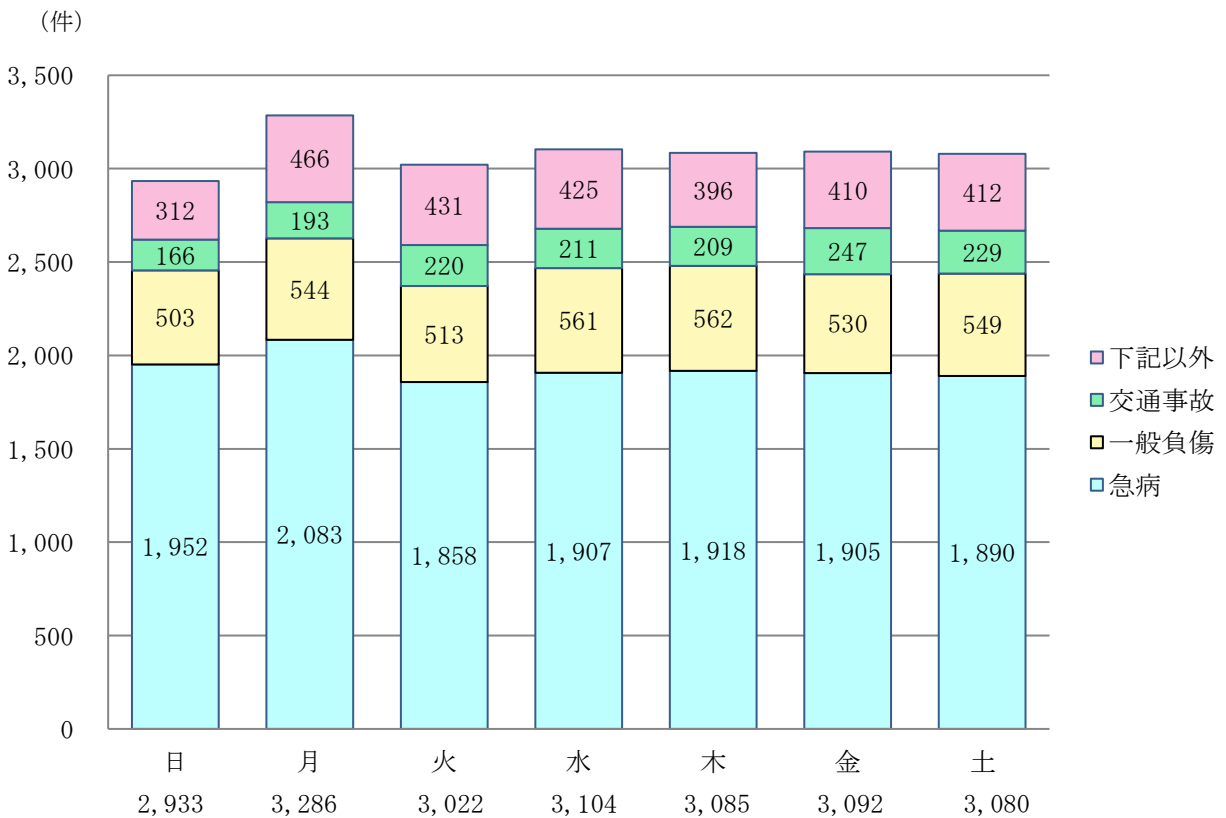
高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

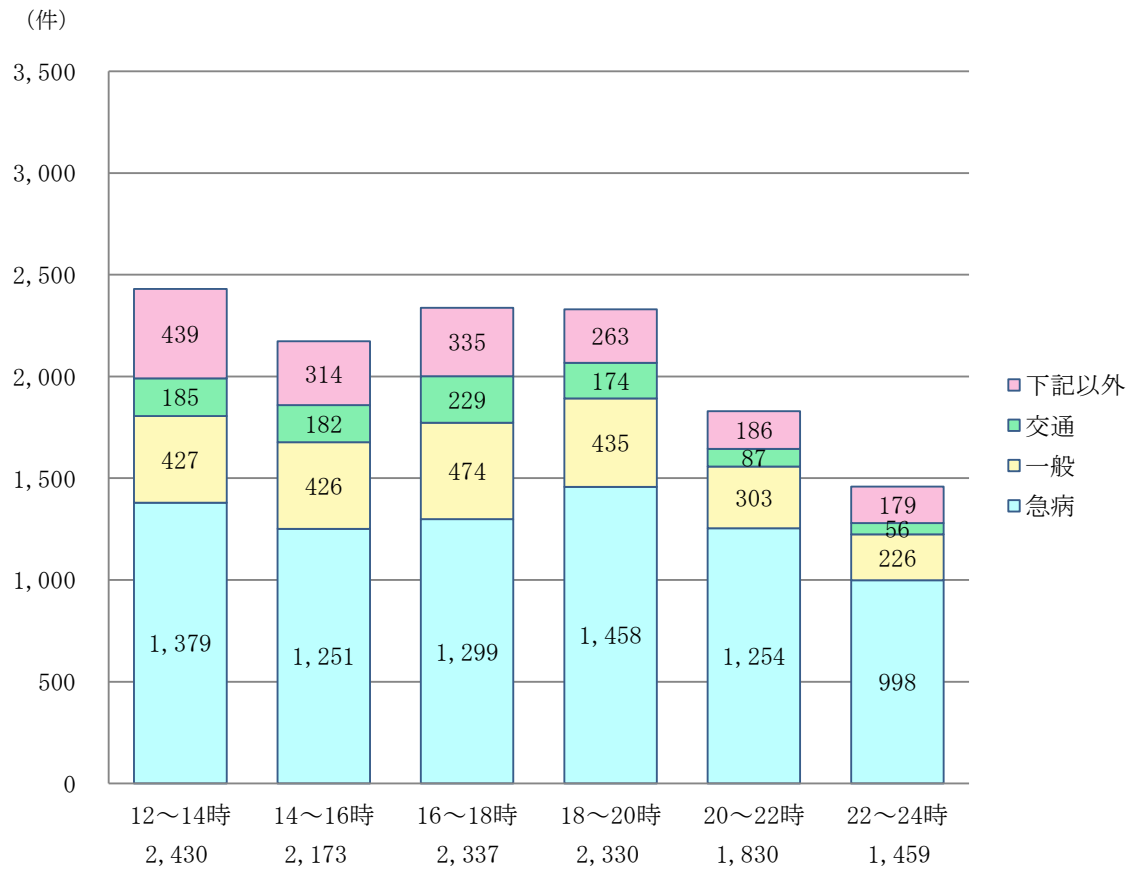
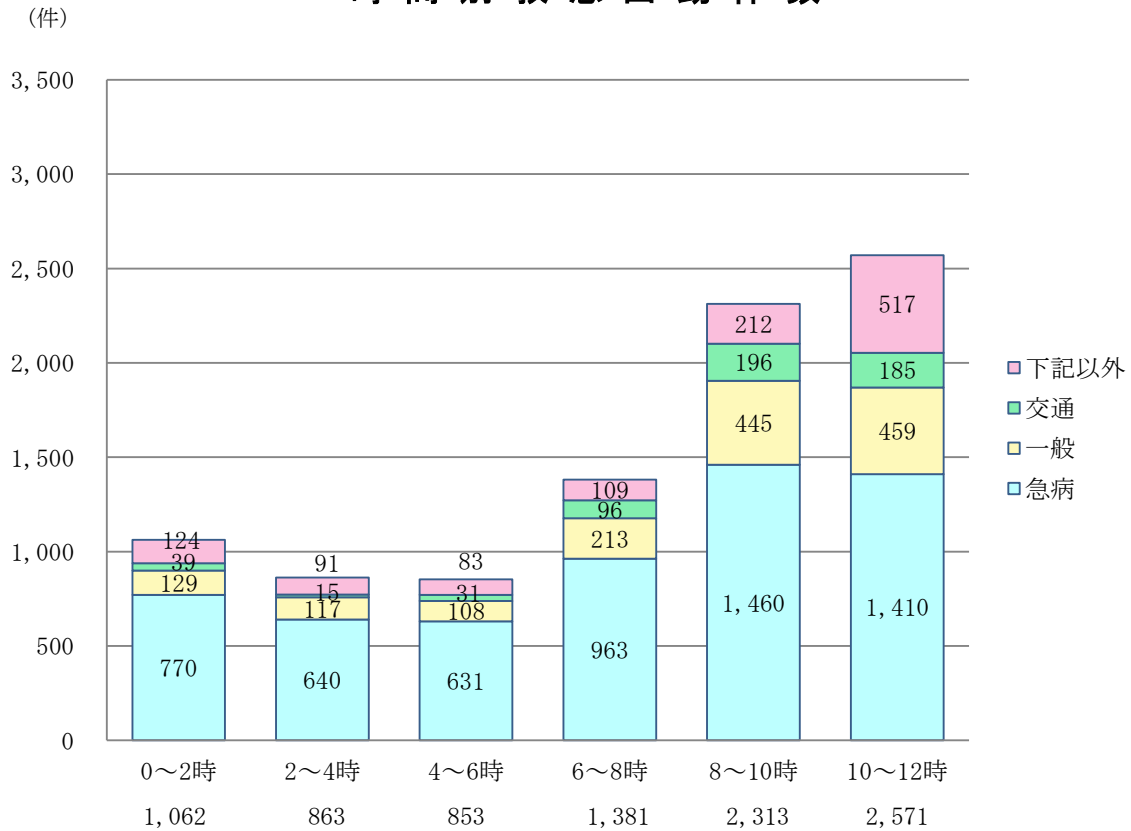
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	合 計	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				そ の 他 の 場 所	
		国 ・ 公 立	公 的	私 的 病 院	的 診 療 所	国 ・ 公 立	公 的	私 的 病 院	的 診 療 所	国 ・ 公 立	公 的	私 的 病 院	的 診 療 所		計
合計	19,575	4,600	14	8,834	1	852	6	5,157	111	5,452	20	13,991	112	19,575	
比率	100%	68.7%				31.3%				28.0%		72.0%		100%	0.0%
市内	16,722	3,765		7,977	1	3		4,876	100	3,768		12,853	101	16,722	
市外	2,853	835	14	857		849	6	281	11	1,684	20	1,138	11	2,853	

隣接都市救急応援（被応援）出動状況

医療機関別 区分		出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 台 数
合 計	応 援	31	94	31
	被応援	25	93	31
尼 崎 市	応 援	5	15	5
	被応援	5	18	6
宝 塚 市	応 援	5	15	5
	被応援	14	48	16
芦 屋 市	応 援	10	30	10
	被応援	4	21	7
神 戸 市	応 援	11	34	11
	被応援	2	6	2
そ の 他	応 援	—	—	—
	被応援	—	—	—

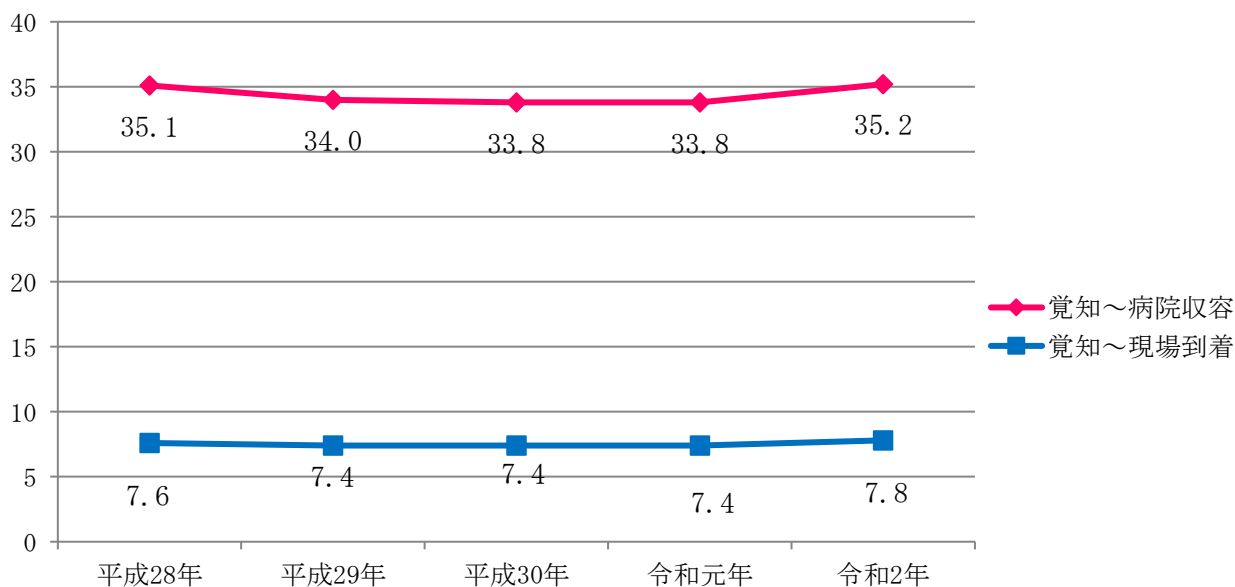
現場到着及び病院収容所要平均時間

(単位：分)

隊 別 区 分	市 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
覚知～現場到着	7.8		7.4	7.9	7.4	8.6	8.2	8.4	9.5	8.2
覚知～病院収容	35.2		30.9	35.0	35.1	36.4	37.1	35.8	48.5	46.3

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移

(分)



応急処置等の状況

応急処置	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	19,544	12,629	1,385	3,533	1,997
止血	385	93	50	204	38
固定	596	18	322	168	88
人工呼吸	65	45	1	6	13
胸骨圧迫	5	3		1	1
心肺蘇生	337	238	5	24	70
酸素吸入	3,138	2,327	82	177	552
気道確保	482	349	9	36	88
経鼻エアウェイ	2	2			
喉頭鏡等を使用した異物除去	11	3		7	1
ラリングアルチューブ等	22	18		1	3
気管挿管	26	21		2	3
用手による気道確保	421	305	9	26	81
保温	165	82	31	19	33
被覆	1,461	53	400	900	108
在宅療法継続	69	66		3	
除細動	16	16			
薬剤投与	21	19	1		1
その他の応急処置	17,164	11,080	1,245	3,090	1,749
血圧測定	18,423	12,002	1,341	3,242	1,838
聴診器による心音・呼吸音の聴取	5,710	4,552	330	498	330
血中酸素飽和度の測定	19,153	12,381	1,375	3,475	1,922
心電図	8,776	7,109	242	705	720
静脈路確保	91	80	4	3	4
C P A前	52	49	2	1	
C P A後	39	31	2	2	4
血糖測定	393	368	4	10	11
エピペン投与	5	5			
ブドウ糖投与	31	31			

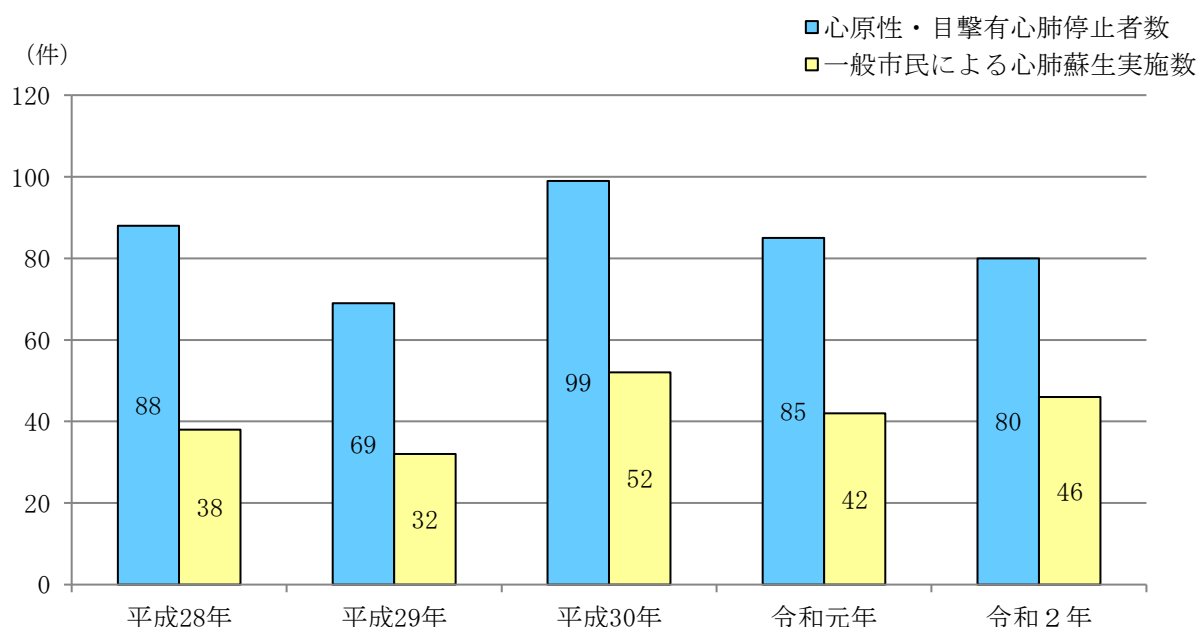
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
出動件数	54	29		1	24
対象者数	54	29		1	24
医療機関収容者数	27	17		1	9

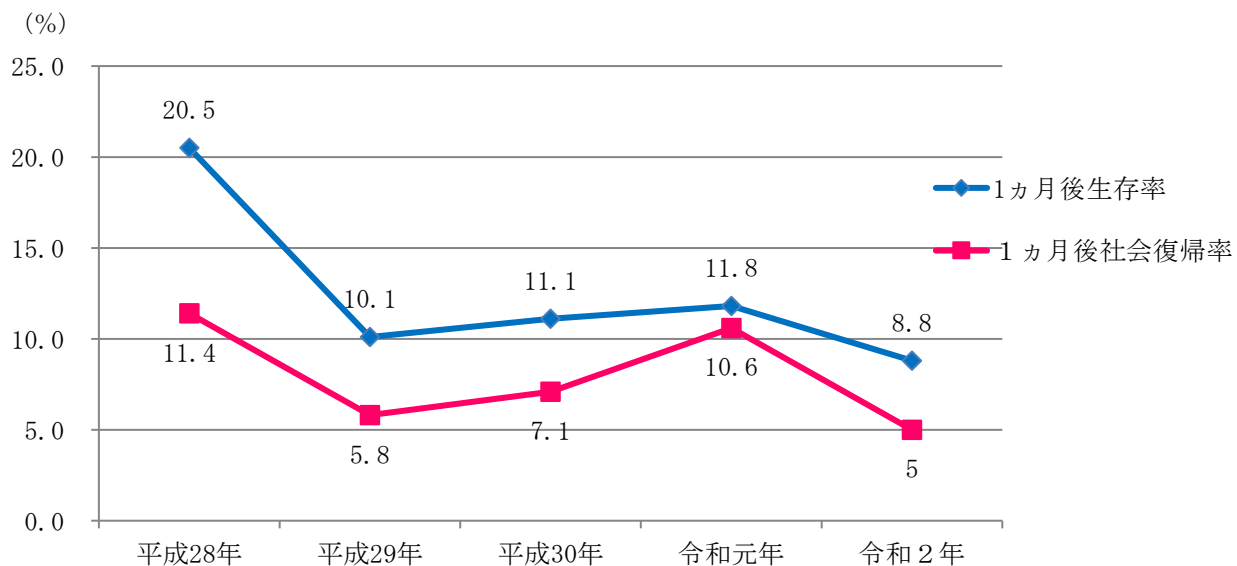
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
80	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
7	4

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



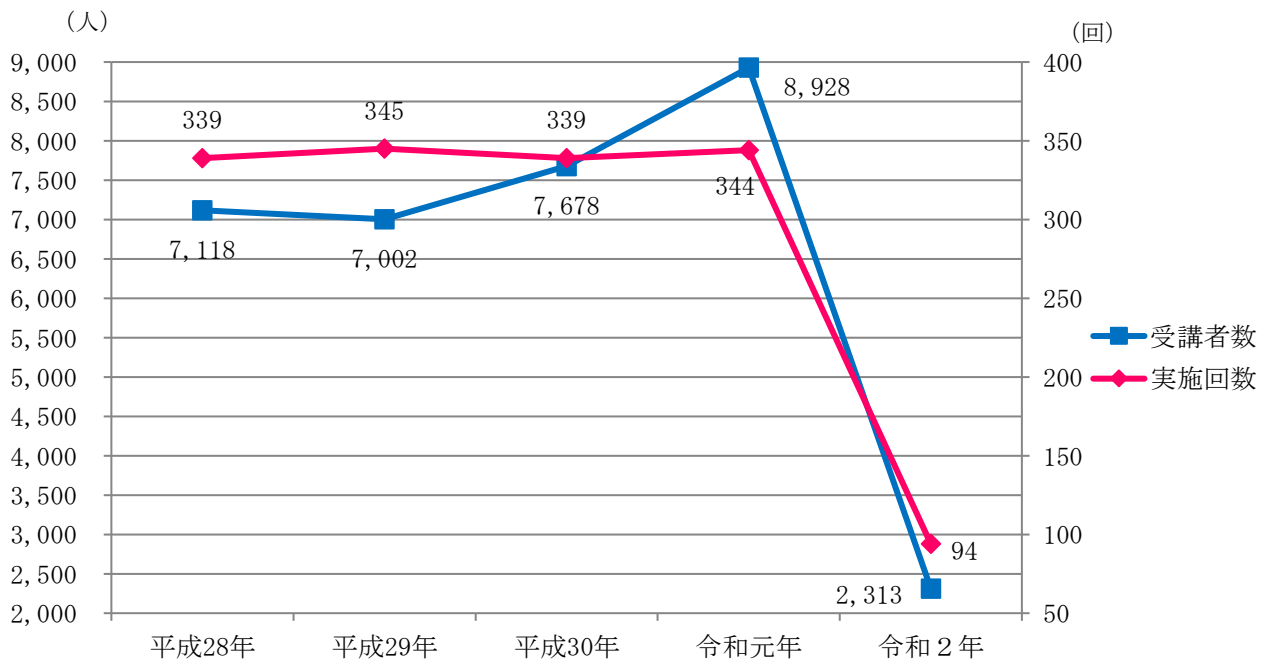
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



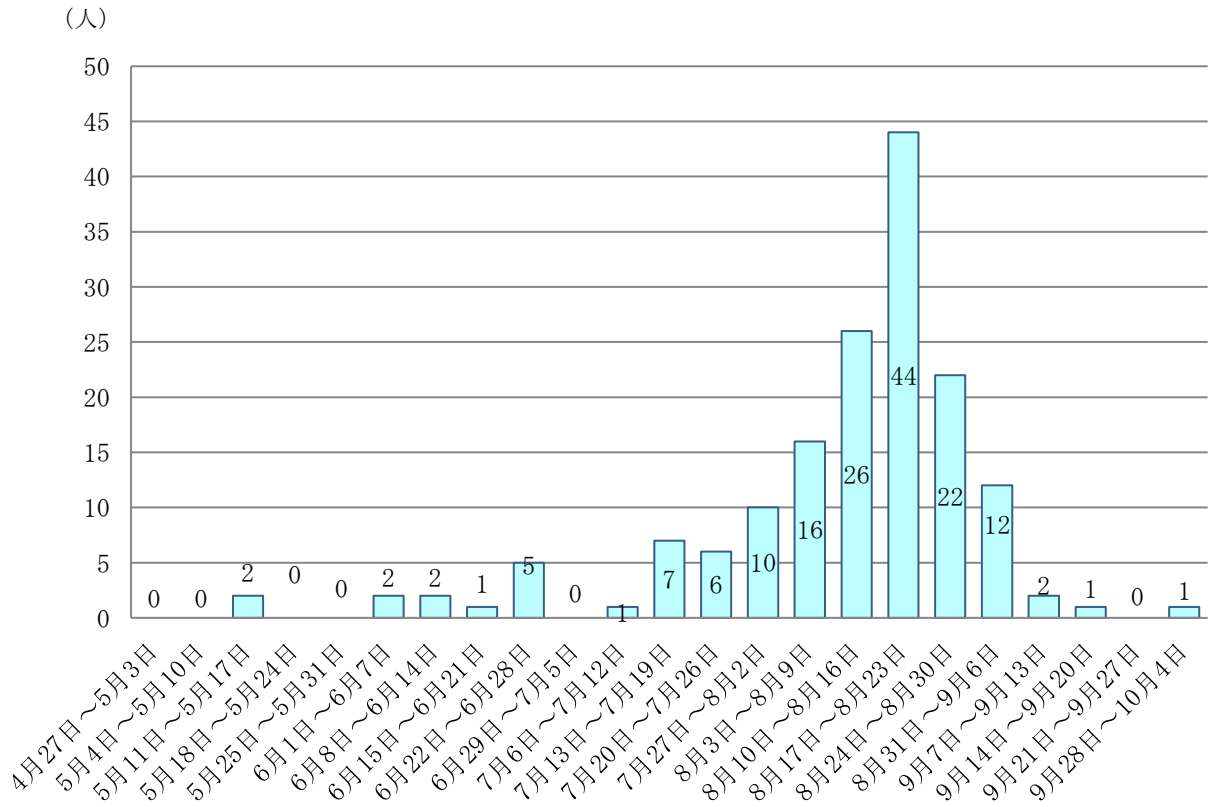
所属別救急講習実施状況

区 分		隊 別	合 計	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				西宮市消防局	本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署
指導員講習	回数		1	1							
	人数		19	19							
普及員講習	回数		13	13							
	人数		53	53							
普通救命講習	回数		29	16	2	1	2	2	4	2	
	人数		299	169	27	3	19	33	29	19	
救命入門コース	回数		34	1	2	7	4	2	8	5	4
	人数		1,180	19	39	383	37	75	115	264	233
その他の講習	回数		17	3	2	2	3		4	1	2
	人数		762	261	63	24	245		108	14	47
合 計	回数		94	34	6	10	9	4	16	8	6
	人数		2,313	521	129	410	301	108	252	297	280

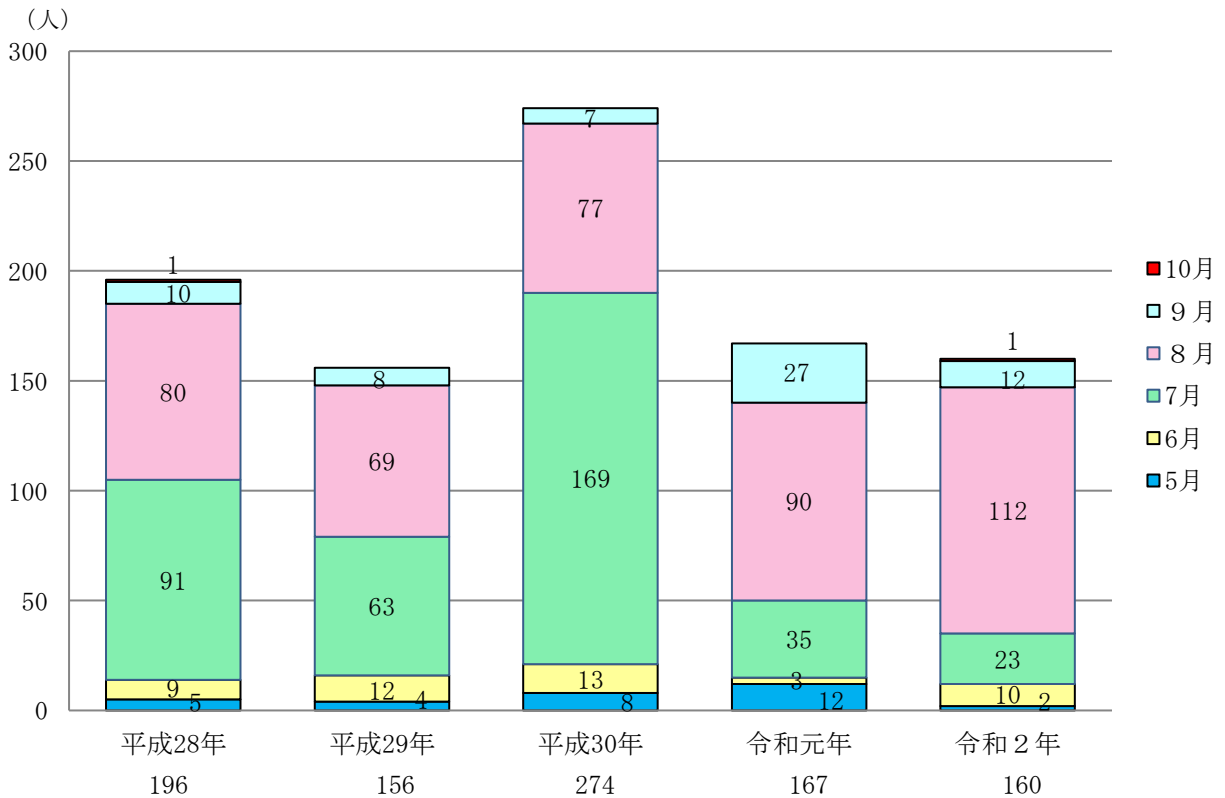
救急講習実施回数及び受講者数の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区分 事故種別	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	
合 計	21,602	19,467	2,135	19,575	9,563	10,012	114	760	8,475	10,226	65,065
火 災	10	8	2	8	4	4		1	5	2	30
自然災害	3	3		3	1	2		2		1	9
水 難	5	2	3	2	1	1	1		1		15
交 通	1,475	1,315	160	1,388	813	575	3	32	238	1,115	4,440
労働災害	159	154	5	155	123	32	1	6	43	105	480
運動競技	111	110	1	111	82	29			23	88	335
一般負傷	3,762	3,524	238	3,536	1,576	1,960	4	338	884	2,310	11,328
加 害	88	70	18	74	35	39			8	66	265
自損行為	211	145	66	145	50	95	12	12	66	55	641
急 病	13,513	12,618	895	12,635	6,135	6,500	69	265	5,940	6,361	40,694
そ の 他	2,265	1,518	747	1,518	743	775	24	104	1,267	123	6,828

救急隊別出動状況

隊別	区分	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員	
					合計	男	女	死亡	重症	中等症	軽症		その他
	合計	21,602	19,467	2,135	19,575	9,563	10,012	114	760	8,475	10,226		65,065
	西宮市消防局												
	小計	9,055	8,018	1,037	8,061	3,958	4,103	28	278	3,216	4,539		27,319
	本署	6,846	6,005	841	6,038	3,018	3,020	20	235	2,300	3,483		20,662
	北夙川分署	2,209	2,013	196	2,023	940	1,083	8	43	916	1,056		6,657
	小計	6,565	5,966	599	5,988	2,900	3,088	48	244	2,710	2,986		19,758
	本署	5,010	4,529	481	4,546	2,176	2,370	35	186	2,000	2,325		15,065
	浜分署	1,555	1,437	118	1,442	724	718	13	58	710	661		4,693
	小計	4,383	4,005	378	4,022	1,949	2,073	30	151	1,865	1,976		13,171
	本署	2,728	2,480	248	2,489	1,194	1,295	16	80	945	1,448		8,184
	甲東分署	1,655	1,525	130	1,533	755	778	14	71	920	528		4,987
	小計	1,599	1,478	121	1,504	756	748	8	87	684	725		4,817
	本署	783	721	62	732	379	353	6	39	332	355		2,367
	山口分署	816	757	59	772	377	395	2	48	352	370		2,450

月別・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	月別												曜日別						
	合 計												合 計						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
合計	2,119	1,837	1,802	1,443	1,532	1,611	1,762	2,049	1,829	1,892	1,768	1,958	2,933	3,286	3,022	3,104	3,085	3,092	3,080
火災	2	1	3			1					2	1	1	4		2	1	1	1
自然災害	2					1									1	2			
水難					3			1		1					1	1			3
交通	138	138	112	91	94	113	120	128	143	144	123	131	166	193	220	211	209	247	229
労働災害	7	8	10	5	8	14	18	35	14	8	11	21	19	22	25	27	20	28	18
運動競技	8	11	2	3	1	10	8	18	16	9	14	11	35	8	12	9	12	7	28
一般負傷	347	292	313	264	273	259	320	305	318	341	361	369	503	544	513	561	562	530	549
加害	9	6	6	4	9	8	7	4	7	9	7	12	15	13	11	13	10	11	15
自損行為	11	16	8	10	15	23	22	17	22	31	18	18	21	34	37	25	34	30	30
急病	1,409	1,153	1,166	913	991	1,010	1,087	1,331	1,113	1,148	1,031	1,161	1,952	2,083	1,858	1,907	1,918	1,905	1,890
その他	186	212	182	153	138	172	180	210	196	201	201	234	221	385	344	346	319	333	317

救 助 統 計



土砂埋没を想定した救出訓練

救 助 の 概 要

1 概況

令和2年中の救助出動件数は450件、救助活動件数は278件、救助人員は224人となっている。

前年と比較すると、出動件数は14件増加し、活動件数は4件、救助人員は18名減少している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災7件(2%)、交通事故38件(8%)、水難事故10件(2%)、建物事故216件(48%)、ガス・酸欠事故5件(1%)、その他の事故174件(39%)となっている。

前年と比較すると、建物事故で14件、水難事故で6件、ガス・酸欠事故で4件増加し、火災で1件、交通事故で2件、機械事故で2件、その他の事故で5件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災7件(3%)、交通事故14件(5%)、水難事故9件(3%)、建物事故178件(64%)、ガス・酸欠事故4件(1%)、その他の事故66件(24%)となっている。

前年と比較すると、水難事故で6件、建物事故で9件、ガス・酸欠事故で3件増加し、火災で1件、交通事故で6件、機械事故で1件、その他の事故で14件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災で3人(1%)、交通事故16人(7%)、水難事故8人(4%)、建物事故174人(78%)、ガス・酸欠事故2人(1%)、その他の事故21人(9%)となっている。

前年と比較すると、水難事故で5人、建物事故で5人、ガス・酸欠事故で1人増加し、火災事故で4人、交通事故で11人、機械事故で1人、その他の事故で13人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス・	裂	の
			故	事	事	災	事	事	酸	事	事
			故	故	害	害	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	450	7	38	10			216	5		174
	活動件数	278	7	14	9			178	4		66
	救助人員	224	3	16	8			174	2		21
	出動台数	1,072	91	110	56			427	10		378
	出動人員	3,931	394	405	203			1,533	35		1,361
西 宮	出動件数	152	4	15				67	2		64
	活動件数	88	4	5				56	1		22
	救助人員	64	2	6				55			1
	出動台数	361	51	41				132	3		134
	出動人員	1,423	201	165				524	13		520
鳴 尾	出動件数	168	1	9	9			91	2		56
	活動件数	108	1	3	8			75	2		19
	救助人員	89		3	7			72	1		6
	出動台数	394	13	25	50			183	4		119
	出動人員	1,381	65	89	183			623	13		408
瓦 木	出動件数	98	2	3				53			40
	活動件数	64	2	2				42			18
	救助人員	53	1	3				42			7
	出動台数	230	27	9				102			92
	出動人員	838	128	31				355			324
北	出動件数	32		11	1			5	1		14
	活動件数	18		4	1			5	1		7
	救助人員	18		4	1			5	1		7
	出動台数	87		35	6			10	3		33
	出動人員	289		120	20			31	9		109

発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他
				建 物	建 物 以 外								
合 計			450	7		38	10			216	5		174
屋 内	住 居		354	7						210	1		136
	その他の屋内		7							5			2
屋 外	道 路	名 神 高 速											
		中国自動車道	4			4							
		山陽自動車道	1			1							
		阪 神 高 速	1			1							
		一 般 道 路	31			27					1		3
	内 水	河 川	12				7						5
		湖 ・ 沼											
		池											
		プ ー ル											
		そ の 他											
	外 水 面	海	4				3						1
		そ の 他											
		山 岳	5										5
		そ の 他	29			5				1	3		20
	地 下												
	そ の 他	2										2	

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	450	278	224	7	38	10			216	5		174	359	86	2	3
1月	44	27	21		2				24			18	38	6		
2月	43	26	19	3	5	1			17			17	33	9		1
3月	26	19	16	1	5				9			11	20	6		
4月	27	21	15		4				13			10	24	2	1	
5月	36	25	22		1	3			21	1		10	30	4	1	1
6月	30	18	11		2				12	1		15	23	6		1
7月	38	16	15		6	1			13	1		17	31	7		
8月	38	26	23		1	3			24			10	26	12		
9月	37	19	15		5	1			15	1		15	27	10		
10月	39	26	22		1	1			22	1		14	29	10		
11月	49	30	24	2	4				23			20	42	7		
12月	43	25	21	1	2				23			17	36	7		

救 助 出 動 状 況 の 推 移

年 別 区 分		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和 2 年	
出 動 件 数		436 件		452 件		460 件		436 件		450 件	
事 故 種 別	火 災	4	0.9%	3	0.7%	8	1.7%	8	1.8%	7	1.6%
	交 通	42	9.6%	40	8.8%	36	7.8%	40	9.2%	38	8.4%
	水 難	13	3.0%	13	2.9%	11	2.4%	4	0.9%	10	2.2%
	自 然		0.0%		0.0%	5	1.1%		0.0%		0.0%
	機 械	7	1.6%	6	1.3%	12	2.6%	2	0.5%		0.0%
	建 物	166	38.1%	197	43.6%	205	44.6%	202	46.3%	216	48.0%
	ガス・酸欠	4	0.9%	2	0.4%	1	0.2%	1	0.2%	5	1.1%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	200	45.9%	191	42.3%	182	39.6%	179	41.1%	174	38.7%
活 動 件 数		255 件		292 件		303 件		282 件		278 件	
事 故 種 別	火 災	4	1.6%	3	1.0%	8	2.6%	8	2.8%	7	2.5%
	交 通	13	5.1%	18	6.2%	20	6.6%	20	7.1%	14	5.1%
	水 難	9	3.5%	10	3.4%	9	3.0%	3	1.1%	9	3.2%
	自 然		0.0%		0.0%	3	1.0%		0.0%		0.0%
	機 械	5	2.0%	4	1.4%	8	2.6%	1	0.4%		0.0%
	建 物	136	53.3%	164	56.2%	178	58.7%	169	59.9%	178	64.0%
	ガス・酸欠	2	0.8%	2	0.7%		0.0%	1	0.4%	4	1.4%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	86	33.7%	91	31.2%	77	25.4%	80	28.4%	66	23.8%
救 助 人 員		196 人		236 人		259 人		242 人		224 人	
事 故 種 別	火 災	2	1.0%	1	0.4%	4	1.5%	7	2.9%	3	1.3%
	交 通	15	7.7%	21	8.9%	27	10.4%	27	11.2%	16	7.1%
	水 難	5	2.6%	9	3.8%	6	2.3%	3	1.2%	8	3.6%
	自 然		0.0%		0.0%	2	0.8%		0.0%		0.0%
	機 械	11	5.6%	4	1.7%	8	3.1%	1	0.4%		0.0%
	建 物	127	64.8%	158	66.9%	174	67.2%	169	69.8%	174	77.7%
	ガス・酸欠	2	1.0%	2	0.8%		0.0%	1	0.4%	2	0.9%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	34	17.3%	41	17.4%	38	14.7%	34	14.0%	21	9.4%
内 訳	男 性	90 人		131 人		113 人		114 人		114 人	
	女 性	106 人		105 人		146 人		128 人		110 人	
出 動 台 数		1066 台		1,045 台		1,088 台		1,043 台		1,072 台	
出 動 人 員		3,811 人		3,753 人		3,914 人		3,800 人		3,931 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
合計		4	14	52	1
		7	34	112	8
尼崎市		1	5	20	-
		1	7	24	-
宝塚市		1	3	10	-
		3	14	44	-
芦屋市		-	-	-	-
		3	13	44	8
神戸市		2	6	22	1
		-	-	-	-

※ 上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(令和3年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器			アセチレン
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		449	19	373		37	20	7	1	6	
局		6	6								
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		75	7	68							
	北夙川	32	2	30							
鳴尾	本署	14				9	5	2		2	
		62		62							
	浜	26		26							
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		70		70							
	甲東	30		30							
北	本署	12				6	6	2		2	
		59	2	57							
	山口	32	2	30							

※ 下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(令和3年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	18	2	4	4	4	4
三連はしご	21	2	5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	45	8	9	13	9	6
油圧ジャッキ	15		5	4	4	2
油圧スプレッダー	20	2	6	5	5	2
可搬式ウインチ	11	3	2	2	2	2
マンホール救助器具	7	2	1	1	2	1
エンジンカッター	29	1	9	6	8	5
ガス溶断機	3		1	1	1	
チェーンソー	25		5	6	8	6
各種ガス酸素濃度測定器	21	2	7	3	3	6
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	224	18	60	44	51	51
投光器一式	19	3	4	3	6	3
隊員用自動携帯警報器	241	18	64	49	58	52
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	4	1	1	1	1	
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
電磁波探查装置	1		1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	4		2	2		
潜水器具一式	27	8	5	5	5	4
救命ボート	14	1	3	3	3	4
船外機	4	1	1	1	1	
バスケット担架	10	2	2	2	3	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	17		5	4	4	4
ハンマードリル	17	1	4	4	5	3
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	60	42	9			9
*化学防護服	19		5	5	4	5
送排風機	5		2	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	0					
簡易画像探索機	2		1			1
*有毒ガス検知管	4	1	1			2

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



指令課実務研修

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

- (1) 無線設備
 - ア 署活動用無線機21台を更新し、5台を新規購入した。(総数271台)
 - イ バッテリーの老朽化に伴い、署活動用無線機用バッテリー40個を更新した。
 - ウ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の令和2年度における保守について、無線設備の適正な維持管理を継続するため、保守契約を締結した。
- (2) 有線設備
 - 情報送受信等における通信網確保のため、指令課、甲東分署及び山口分署の老朽化したファクシミリを更新した。

2 通信業務対応能力の向上

- (1) 各種システムの取扱い
 - 救急医療情報システム及び位置情報通知システム等により、迅速かつ正確な情報収集及び伝達を図った。
- (2) 研修
 - ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修とともに阪神地区消防長会救急隊員研修会の受講及び外部講師を招いての口頭指導研修並びに口頭指導シミュレーション訓練を行った。
 - イ 発生した災害をもとに検討会を実施し、災害対応力の強化を図った。
 - ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
 - エ 消防緊急情報システムの円滑な取扱技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。
 - オ 人事異動に伴い、局内職員を対象とした非常順次通報装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
 - カ 各署の警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
 - キ 異動者を対象に各機器の操作研修を実施し、技術の早期習熟を図った。
 - ク 119番分散受信訓練を実施し、119番回線遮断時の対応能力の習得を図った。
 - ケ 消防局員の内、指令課勤務経験者に対して実務研修を実施し、新型コロナウイルス禍における指令体制の強化を図った。
- (3) 広報
 - 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）、病院情報等について、消防テレホンサービスや市政ニュース、さくらFM等の広報媒体を利用した広報を行い、適正な119番通報の認識の普及に努めた。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

- (1) 消防緊急情報システムの運用管理
 - 消防緊急情報システムの全ての機能を最大限に活用できるように、運用要領の見直しを実施し、危機管理体制の向上を図り、効率的な指令体制を構築した。
- (2) 各種支援情報の更新及び維持
 - 各署と連携して防火対象物等の各種支援情報を随時更新して、地図データを常に最新の状態に保った。
- (3) 消防緊急情報システムの維持
 - 年間計画によるシステム機器の定期点検を確実にを行い、障害発生の未然予防及びシステム機器の機能維持を図った。

消防通報用電話（119番）受信状況

(令和2年中)

種別 月	緊急通報							照会							その他				総 受 信 件 数	1 日 平 均	テ ス ト	テ ス ト を 含 む 総 計	1 日 平 均	
	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	病 院 照 会	小 計	間 違 い	い た ず ら						そ の 他
1月	2,114	4	2,023	29		42	16	388	1	12	1			2	372	408	119	11	278	2,910	93.9	34	2,944	95.0
	647	2	636			5	4	105		4					101	63	22	2	39	815		4	819	
	1,039	2	972	27		31	7	244	1	8	1				234	205	77	5	123	1,488		3	1,491	
2月	1,856	30	1,763	25		32	6	251	5	5		1	1		239	467	158	15	294	2,574	91.9	23	2,597	92.8
	588	6	575	3		3	1	50		2				48	80	14	6	60	718	3		721		
	900	20	834	20		22	4	174	5	1		1	1		166	222	115	4	103	1,296		2	1,298	
3月	1,821	22	1,749	16		26	8	220		9				1	210	505	164	19	322	2,546	82.1	38	2,584	83.4
	596	4	583	1		6	2	49		2				47	70	16		54	715	9		724		
	852	17	802	13		15	5	151		6				1	144	278	116	16	146	1,281		8	1,289	
4月	1,441	8	1,380	18		27	8	207	2	6					199	389	132	12	245	2,037	67.9	16	2,053	68.4
	463	1	455	1		5	1	43		1				42	52	13		39	558	1		559		
	700	7	657	15		17	4	144	2	4					138	194	94	7	93	1,038		3	1,041	
5月	1,530	15	1,444	27		28	16	254	1	5				1	247	389	115	14	260	2,173	70.1	39	2,212	71.4
	440	3	432			2	3	58		1				57	51	15	1	35	549	4		553		
	778	9	717	21		21	10	171		3					168	220	79	8	133	1,169		8	1,177	
6月	1,638	8	1,534	23		57	16	204	3	12	1		1		187	419	141	10	268	2,261	75.4	27	2,288	76.3
	436		426	2		8		42	2	5				34	44	8	1	35	522	4		526		
	875	5	800	16		40	14	146	1	6					139	228	104	7	117	1,249		2	1,251	
7月	1,780	5	1,678	21		59	17	277		7			1	3	266	547	167	23	357	2,604	84.0	58	2,662	85.9
	533		517	6		7	3	66							66	52	20	2	30	651		4	655	
	907	4	841	15		41	6	188		6			1	2	179	337	120	18	199	1,432		10	1,442	
8月	2,062	5	1,956	23		60	18	288		8					279	426	117	14	295	2,776	89.5	32	2,808	90.6
	575		561	4		6	4	60		1					59	58	16	2	40	693		2	695	
	1,070	4	992	18		45	11	195		5					190	224	76	12	136	1,489		10	1,499	
9月	1,810	5	1,727	24		38	16	212	1	5	1			1	204	356	101	12	243	2,378	79.3	47	2,425	80.8
	537	1	527	2		5	2	48	1	2					45	35	10	1	24	620		8	628	
	911	1	853	20		27	10	144		1	1				142	204	74	10	120	1,259		2	1,261	
10月	1,885	4	1,807	27		27	20	217		8				1	208	436	131	13	292	2,538	81.9	44	2,582	83.3
	548		538	2		4	4	53		2					50	52	9	1	42	653		6	659	
	957	3	908	19		16	11	135		6					129	213	99	7	107	1,305		3	1,308	
11月	1,775	12	1,685	34		35	9	248		12				1	235	412	113	10	289	2,435	81.2	45	2,480	82.7
	512		504	3		3	2	49		1					48	78	19	2	57	639			639	
	914	10	844	26		28	6	180		7			1		172	195	84	7	104	1,289		2	1,291	
12月	1,973	12	1,869	29		46	17	220		8	2				209	433	121	22	290	2,626	84.7	42	2,668	86.1
	624	1	609	4		6	4	52		1					51	71	15	2	54	747		7	754	
	957	11	885	20		31	10	146		7	2				137	208	85	14	109	1,311		2	1,313	
合計	21,685	130	20,615	296		477	167	2,986	13	97	5	1	5	10	2,855	5,187	1,579	175	3,433	29,858	81.8	445	30,303	83.0
	6,499	18	6,363	28		60	30	675	3	22			1	1	648	706	177	20	509	7,880		52	7,932	
	10,860	93	10,105	230		334	98	2,018	9	60	4	1	3	3	1,938	2,728	1,123	115	1,490	15,606		55	15,661	
1日 平均	59.4	0.4	56.5	0.8		1.3	0.5	8.2		0.3					7.8	14.2	4.3	0.5	9.4	81.8		1.2	83.0	
割合 %	72.6	0.4	69.0	1.0		1.6	0.6	10.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	17.4	5.3	0.6	11.5	100.0		1.5		

- ※ 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数内数、下段は携帯電話の119番受信件数内数
- ※ 「水防」は、防災指令第1号以上発令時の件数
- ※ 種別～その他のその他は、通報訓練・緊急通報のテスト及び誤作動等
- ※ 最下段の1日平均及び割合については、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までの表示

消防通信施設の状況

令和3年4月1日現在

区分 所属	119 報知 専用 電話 線	119 転送 回線	加入電話			衛星		消防電話			指令					単 独 直 通 回 線	位置 情報 通知 システム (統合型)	高 所 監 視 カ メ ラ シ ス テ ム	現 場 映 像 伝 送 装 置	気 象 情 報 シ ス テ ム	衛星 通信・ 県災害 対応・ 県救急 システム	無線設備													
			一 般 加 入 台	フ ア ク シ ミ リ 台	消 防 テ レ ホ ン サ ー ビ ス 置 台	携 帯 電 話 機	衛 星 電 話 機	自 動 交 換 機	電 話 機 数	業 務 回 線	指 令 台 ・ 指 揮 台	指 令 端 末 電 話 機	指 令 回 線	直 通 回 線	消 防 団 緊 急 伝 達 装 置							局	陸上移動局												
																							固 定 型 デ ジ タル 局	車 載 型 デ ジ タル 局	可 搬 型 デ ジ タル 局	可 搬 型 デ ジ ア ナ 変 換 装 置	携 帯 型 デ ジ タル 局	携 帯 型 ア ナ ログ 局	携 帯 型 (署 活 動 用)	携 帯 型 デ ジ タル	衛 星 通 信 可 搬 型 V S A T	衛星通信			
																																可搬型	衛星通信		
合計	18	4	75	14	5	29	73	3	1	273	36	6	9	9	5	38	6	1	1	2	1	3	3	6	115	7	2	87	22	271	26	2			
消防局	18	4	36	5	5	29	12	2	1	82		6	1	1		1									9	3	1	24	6	39		1			
整備センター			3	1			8			6	2														9			8			1				
西宮			5	1			9			34	2	1	1												1	10	1		12	2	46	1			
北夙川			4	1			5			15	2	1	1												1	5			6	2	22	1			
鳴尾			5	1			9			26	2	1	1												1	9	1		2	39	12				
浜			4	1			4			15	4	1	1												1	6			1	2	17	7			
瓦木			5	1			7			22	2	1	1												1	9	1		11	2	33	1			
甲東			4	1			5			14	2	1	1												1	5			6	2	22	1			
北			5	1			9	1		25	2	1	1											1	9	1		13	2	31	1	1			
山口			4	1			5			15	2	1	1											1	5		1	6	2	22	1				
市役所																2																			
水道局														1																					
消防団															37											39									
医療機関										17	16																								
警察署														2																					
大阪ガス														1																					
高速道路																2																			
盤滝トンネル																1																			
西宮市医師会																1																			
その他										2						1																			

- ※ 一般加入の下段は、分散受信システム回線数(内書)
- ※ 一般加入には、発信及び着信専用含む
- ※ 119転送回線は、受信専用回線

気象情報等月別発令状況

種別	月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	種別	月別													
警 報	大	雨	14						2	12					
	大	洪水	1							1					
	暴	風	5	3								1			1
	波	浪	5	3								1			1
	高	潮	0												
	大	雪	0												
	津	波	0												
	小	計	25	6	0	0	0	0	0	2	13	0	2	0	0
注 意 報	大	雨	47						6	25	7	7	2		
	大	洪水	12							9		3			
	強	風	151	14	17	12	16	12	6	33	4	17	7	5	8
	波	浪	152	14	18	12	16	12	5	33	4	17	7	5	9
	高	潮	21	2		2		2		9		4	2		
	津	波	0												
	大	雪	0												
	風	雪	2		1										1
	着	雪	0												
	な	だ	れ	0											
	濃	霧	31	1	2	4		4	5	1		1	4	4	5
	低	温	1		1										
	雷	霜	176	9	7	6	9	6	20	48	33	28	4	6	
	雷	霜	17			8	1	8							
	乾	燥	89	5	13	14	21	13	2		1	2	6		12
	着	氷	0												
小	計	699	45	59	58	63	57	44	158	49	79	32	20	35	
情 報	雨		49					12	34			3			
	雪		41		5	4	5	4	3		1			19	
	雷		91	5	6	4	7	4	13	35	5	10		2	
	高	波	21	7			6								8
	低	温	0												
	高	温	34						2		27	5			
	台	風	13									7	6		
	梅	雨	0												
	強	風	106	7	6	4	11	4	13	36	5	15		2	3
	寒	気	0												
	春	一	番	0											
	気	圧	配	2		1									1
	津	波	0												
	地	震	0												
	日	照	不	0											
	そ	の	他	5								5			
火	災	気	331	14	24	35	52	36	10	38	9	27	25	18	43
光	化	学	1								1				
小	計	694	33	42	47	81	48	53	143	53	64	34	22	74	
合	計	1,418	84	101	105	144	105	99	314	102	145	66	42	111	

発令された防災指令等

災 害 警 戒 指 令	0														
防 災 指 令 第 1 号	0														
防 災 指 令 第 2 号	0														
防 災 指 令 第 3 号	0														
水 防 警 戒 指 令	1								1						
水 防 指 令 第 1 号	0														
水 防 指 令 第 2 号	0														
水 防 指 令 第 3 号	0														
国 土 大 臣 が 発 する 水 防 警 報	0														
火 災 警 報	0														
火 災 注 意 報	0														
合 計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

消防テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	516	17	225	154	137
2月	535	18	301	132	102
3月	542	17	351	88	103
4月	276	9	169	77	30
5月	617	20	360	129	128
6月	453	15	286	69	98
7月	508	16	313	117	78
8月	401	13	220	121	60
9月	331	11	185	85	61
10月	377	12	230	90	57
11月	477	16	261	117	99
12月	472	15	280	119	73
合 計	5,505	15	3,181	1,298	1,026

- 1 災 害 情 報 災害（建物・林野火災）発生時随時
- 2 病 院 情 報 【平日】 17:00～翌朝 8:00
【土曜】 11:00～翌朝 8:00
【日曜・祝日】 8:00～翌朝 8:00
- 3 消 防 情 報 24時間

車 両 整 備



水槽付消防ポンプ自動車

車 両 整 備 の 概 要

令和2年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、高規格救急自動車2台、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ車1台、特殊災害対応支援車1台及び救助工作車1台を更新し、消防及び救急体制の充実強化を図った。

- 1 高規格救急自動車
西宮消防署及び西宮消防署北夙川分署に高規格救急自動車を購入した。
- 2 水槽付消防ポンプ自動車
西宮消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入した。
- 3 消防ポンプ自動車
北消防署山口分署に消防ポンプ自動車を購入した。
- 4 特殊災害対応支援車
北消防署に特殊災害対応支援車を購入した。
- 5 救助工作車
鳴尾消防署に救助工作車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
高 規 格 救 急 自 動 車	西宮19	令和2年9月18日	西宮消防署	更 新
高 規 格 救 急 自 動 車	北夙川9	令和2年12月16日	北夙川分署	更 新
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	西宮2	令和3年2月3日	西宮消防署	更 新
消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口1	令和3年2月15日	山 口 分 署	更 新
特 殊 災 害 対 応 支 援 車	北 5	令和3年3月12日	北 消 防 署	更 新
救 助 工 作 車	鳴尾4	令和3年3月19日	鳴尾消防署	更 新

点 検 整 備 等

(単位：台)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		37	65	89	154	733
消 防 局		11	9	23	32	185
西 宮	小 計	4	17	20	37	139
	本 署	4	13	10	23	93
	北夙川		4	10	14	46
鳴 尾	小 計	6	16	18	34	140
	本 署	2	11	11	22	84
	浜	4	5	7	12	56
瓦 木	小 計	9	11	15	26	133
	本 署	6	11	8	19	83
	甲 東	3	/	7	7	50
北	小 計	7	12	13	25	136
	本 署	4	9	9	18	86
	山 口	3	3	4	7	50

消 防 団



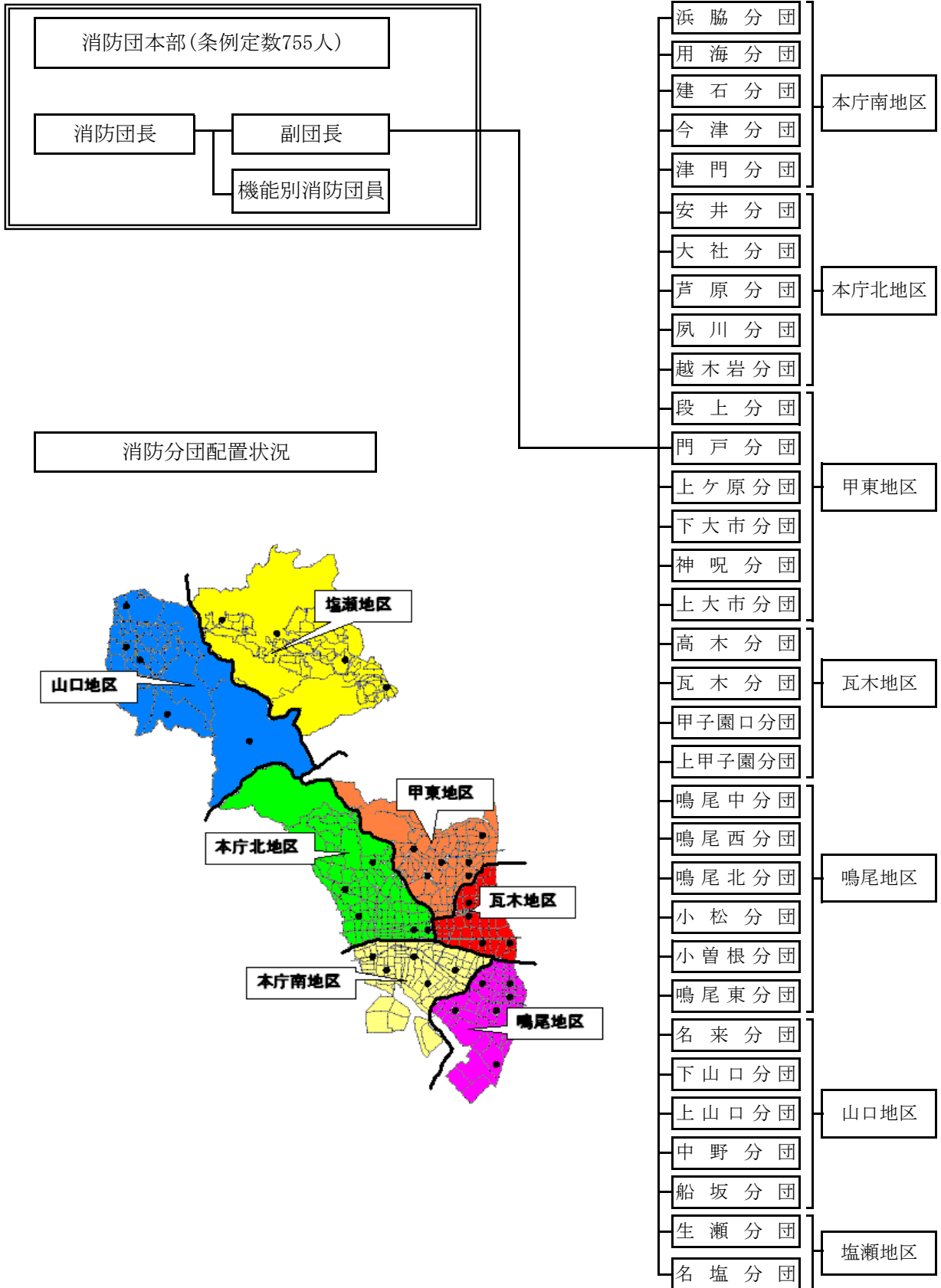
西宮市消防団 更新車両の配車式

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材（8品目）を33分団に配置完了（4年計画）
平成11年 2 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工
平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工

平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足
平成21年 8 月	ゴムボートを13分団に配置
平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工
平成30年 12 月	中野分団車庫竣工
平成31年 3 月	門戸分団車庫竣工
令和 2 年 3 月	用海分団車庫竣工 生瀬分団新車庫竣工
令和 2 年 11 月	小松分団車庫竣工
令和 3 年 3 月	上山口分団金仙寺班車庫竣工

消防団の組織



消防団自動車現況

(令和3年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢(年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 令和元	1. 7. 3	1	1,875	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	9	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	9	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	8	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	4	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	3	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	9	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	5	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	7	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	8	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	7	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	5	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	2	4,930	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	2	4,930	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	3	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	4	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	6	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	8	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	2	4,930	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	6	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	7	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	11	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	6	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	10	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	4	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	10	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	4	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	12	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 令和3	3. 1. 28	0	4,990	〃	シバウラ F T 300M
上 山 口 分 団	トヨタ 令和2	2. 2. 3	1	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	11	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	12	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	13	4,610	〃	トーハツ V 20 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	3	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	5	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	10	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	トヨタ 令和2	2. 2. 3	1	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 木之元班	いすゞ 平成19	19. 9. 19	13	4,610	〃	トーハツ V 20 B
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	12	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(令和3年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (うち女性)	685 (7)	1	7	33	36	37	111	460 (7)
5年未満 (うち女性)	134 (4)						1	133 (4)
5～9年 (うち女性)	132 (3)			1			11	120 (3)
10～14年	101				1	4	15	81
15～19年	85			1	3	3	23	55
20～24年	98			4	11	13	34	36
25～29年	59		1	8	9	7	16	18
30年以上	76	1	6	19	12	10	11	17

※ 団員平均 15年2ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(令和3年4月1日現在)

階級 区分	階級							
	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	685	1	7	33	36	37	111	460
20歳未満	4							4
20～24歳	18							18
25～29歳	24							24
30～34歳	42						2	40
35～39歳	67						2	65
40～44歳	90				1		15	74
45～49歳	117			2	4	6	23	82
50～54歳	120			3	12	12	32	61
55～59歳	79		1	9	5	11	20	33
60歳以上	124	1	6	19	14	8	17	59

※ 団員平均 48歳4ヶ月

消防団費と市民負担

(令和3年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1世帯当り	人口1人当り
	231,345千円	1,030円	478円

消防団出動状況

(令和2年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水 防・防 災	警 戒	訓 練
出動回数	867	53		16	798
出動分団数	1,277	151		212	914
出動車両数	1,284	145		229	910
出動団員数	6,840	1,268		1,264	4,308

消防団訓練実施内容

(令和2年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	4	4	4	20
西宮市消防出初式				
「文化財防火デー」に伴う消防訓練				
西宮市消防団消防操法大会				
春の全国火災予防運動・訓練				
西宮市総合防災訓練				
秋の全国火災予防運動・訓練				
小学校区防災訓練				

派遣研修及び教育訓練実施状況

(令和2年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 能 別 団 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	操 縦 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	想 定 訓 練	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	1	1									
人 員	2	2									

※ 分団定例訓練は除く

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から内部研修や消防署との合同訓練等は実施しなかった

公務災害等発生状況

(令和2年度中)

区分	勤務態様別	発生 件数	被 災者 数	階 級 別							傷 病 程 度 別						
				副 団 長 以 上	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	通 院			入 院			死 亡	
										一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月	一 カ 月 〜 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 〜 一 カ 月		一 カ 月 〜 三 カ 月
公務災害	現場活動中	0	0														
	火災	0	0														
	警戒	0	0														
	水防 防災	0	0														
	その他	0	0														
	訓練中	0	0														
	一般業務中	0	0														
	合 計	0	0														

団員の職業別

(令和3年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道 輸 送	運 通 輸 信	卸 小 販 売	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他 職 等
685	23	1	100	72	26		55	95		20	25	172	27	69

表 彰

(令和2年度中)

種 別 階級別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
合 計	3	9	10	25	36	18
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長						
分 団 長	3	6	4	7		
副 分 団 長			5	3	3	
部 長		1		8	3	1
班 長		1		2	5	4
団 員		1	1	5	25	13

消 防 年 報

(令和2年版)

発 行 令和3年8月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0918

西宮市六湛寺町8番28号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん